

琵琶湖よし笛誕生20周年記念誌

日本よし笛協会



目次

会長挨拶・お祝いのメッセージ	P1
よし笛への思い	P2,3
琵琶湖よし笛と日本よし笛協会のあゆみ	P4～11
グループ紹介	P12～40
個人会員紹介	P41～43
編集後記	P44
「時をこえて」楽譜	P45



◆「琵琶湖よし笛誕生 20 周年の集い」記念誌発刊にあたって

近江八幡市長 小西 理

「琵琶湖よし笛誕生 20 周年の集い」が開催を節目として記念誌を発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。日本よし笛協会におかれましては、会員の皆様がつねづね研鑽に励まれ、よし笛の魅力を発信いただきながら、地域固有の楽器としての継承と発展を目指し、地域文化の振興と向上にご貢献されておられることに、心よりの敬意を表す次第です。

日本初の琵琶湖のよし笛が近江八幡市に誕生し、20 周年を迎えます。その間、多くのよし笛愛好家をはじめ一般市民の方々に、楽器の音色を通して地域の豊かな自然環境を考える機会を提供され、地域独特の音楽文化として、大きく開花しました。

都市の魅力や風格を高めてくれる文化や芸術は、私たちの心にゆとりや安らぎをもたらしてくれます。近江八幡市には、様々な歴史的資産や伝統文化があり、これらの歴史と伝統を生かし、市民が身近な芸術文化に親しみ創造出来る環境づくりに取り組んでいます。今後とも、皆様方の活動を通じて、文化の持つ力により、個性と活力溢れる地域づくりを目指して参りますので、皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、20 周年の集いを契機とされ、日本よし笛協会のさらなる飛躍とますますのご発展をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和 2 年 2 月 吉日



◆「記念誌」発刊に当たって

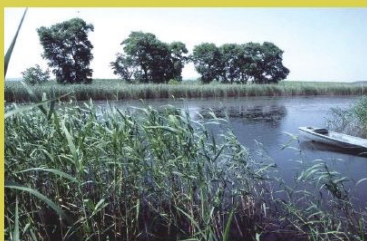
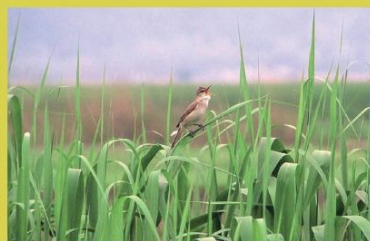
日本よし笛協会会長 菊井 了

記念誌の発刊に当たり一言ご挨拶申し上げます。このたび『琵琶湖よし笛誕生 20 周年の集い』の開催にあわせ同記念誌を発刊させて頂きました。

近江八幡よし笛が誕生し早くも 20 年を超えることとなりました。全国に拡がりつつあるこの歩みを次世代につなげ、これからの皆様の活動の参考になることを願い、お陰様で会員の熱意を結集して刊行できましたこと皆様に心から厚く御礼申し上げます。

よし笛を考案したものとしても、周りからその音色が聞かせて頂けることに感激の思いもひとしおです。細い葦を材料に吹きやすさの点からも一気に拡がったように感じております。多くのグループの皆さんに愛用とご活躍頂いていることに厚く御礼申し上げます。

「記念誌」ではその生い立ちから当協会の設立の歴史、そして加盟グループの様子など記録に残し、時代を超えてお役に立てるよう構成いたしました。よし笛が日本の新たな音楽文化として発展できるよう更なる皆様方のご支援をお願い申し上げます。



◆琵琶湖よし笛誕生 20 周年に「感謝」を寄せて

琵琶湖汽船株式会社 代表取締役社長 川戸 良幸

ご関係の皆様、琵琶湖よし笛誕生 20 周年おめでとうございます。

菊井了先生の自然環境を危惧する思いから誕生した「琵琶湖よし笛」は、この 20 年間、琵琶湖の原風景を音で表す楽器、演奏される皆様の気持ちや思いを込める活動の楽器、そしてお聴きいただく皆様にふるさとや人生の思い出を呼び起こす楽器として「三方よし楽器」であると思います。皆様が、琵琶湖よし笛とともに歩まれてこれたことに「感謝」と「御礼」を申し上げます。そして、「日本よし笛協会」の発足にご尽力を頂きましたご関係の皆様にも「感謝」と「御礼」を申し上げます。特に、2012 年 3 月に他界されました西川嘉廣先生（ヨシ博物館館長）には、「水にヨシ、鳥や魚にヨシ、風景にヨシ…三方よし」とヨシの持つ特性を分かり易く私達を導いていただき、発足より会長として協会活動をご支援とご指導をいただきましたことに「感謝」を申し上げます。

私は、琵琶湖に生まれ、育ち、そして琵琶湖と共に日々社業に励んでおりますが、琵琶湖の原風景である自然景観や人々の暮らしを次世代の人々に胸を張って引き継げるように、琵琶湖に対し感謝の気持ちを持ち続けられる活動を続けていきたいと思っております。皆様には、琵琶湖の原風景を音で表す琵琶湖よし笛と共に、一人でも多くの吹き手、聴き手そして担い手の三方よしの活動を続けていただきます様をお願い申し上げます。

最後になりましたが、日本よし笛協会様の益々のご発展をご祈念申し上げます。





▼琵琶湖よし笛

よし笛への思い・菊井 了【よし笛考案創始者】

一本の葦本体で音階を奏でるよし笛は、当時には見当たりませんでした。新しいものを作るにも文字通りゼロからの出発ですから、今のよし笛は頭にも想像の中にもありませんでした。モノを生み出すためには、模倣したり何かを参考にするなどは大敵中の大敵でした。今でも似た民俗物が見つからないのは不思議で仕方ありません。

考案の動機の中で一つだけ紹介させていただきます。

文明の発祥と営みに欠かせないものと言えば「水・食べもの・住まい」の三つと思います。次に生活が発展し豊かに便利になる道具発見の歴史、それに人々の葦の生活への利用やよし笛の発祥と似通ったものを感じます。

まずは足元に落ちている葦の廃材の利用から始まりましたが、普通にはストローのように細い葦ですから、何かの音は出てもまさか音階までたどり着くとは予想外でした。私はよし笛の前に「古琵琶湖層」の粘土から「瓦奏琴」という新たな粘土楽器を先に作った経過もあって、同じ環境下にある琵琶湖の葦でもきっと何か出来るだろうと考えていました。さてここから飽くなき葦への挑



戦が始まりました。近江八幡で「第7回世界水フォーラム」が開催され参加していたちょうどその時のことでした。琵琶湖の水環境に何か役立つものをと考えたとき、すぐ近くの「西の湖」に眼が向かない筈がありませんでした。

細い筒状の廃材を掃除し、工夫して何度も試していると、聞き落とすくらいの小さなピツという音が聞こえましたが、楽器には到底無理なものでした。演奏できるには音が途切れないことが最低条件で、管楽器をたしなんでいた私と

琵琶湖よし笛の基準

- 方式** 本体の葦に、頭部には竹製のマウスピースを装着した縦笛式よし笛。
- 素材** 本体は葦「ヨシ」、マウスピースには強度のある「真竹」を使用する。
- 音域** ピアノの「ファ」を「ド」としてはじまるF管を主とし、演奏可能な範囲は「ド」からオクターブ高い「ソ」までの出音を最低要件とし、音域幅を1オクターブ半以上とする。
- 音色** 細い葦にふさわしく素朴で優しい澄んだ音色を基調とする。
- 採寸** 全長は約23～24cmとし、マウスピース部は7cmとする。
葦の外径は、最も太い部分で13mmを標準とし、穴は7個とする。
- 色彩** 葦本来の色彩（クリームまたは黄褐色）を素材原色のまま使い、塗料など人工着色はしない。
- 年数** 最低5年は耐用使用でき、2～3年以上自然乾燥させた葦を用いる。
- その他** 破損防止などの加工や必要なデザインは加えることができる。
製作者責任を示すための表示がなされ、他のよし笛と混同させない処理が施されていること。

認定製作者一覧（2020年）

- 1 奥村 好信（京都市）
- 2 舘 賢一（京都市）
- 3 秋元 康範（大津市）
- 4 井本 正子（近江八幡市）
- 5 後藤 耕司（大津市）
- 6 木本 恭司（大津市）
- 7 石田 かよ（大津市）
- 8 井上 高好（大津市）
- 9 小森 好子（近江八幡市）



しては、新しい音が見つかるということは大変大きな出来事でした。

色々実験を繰り返す間、安定した音を継続して得ることは難関でした。適した道具も材料も乏しい中で、マウスピースに真竹の使用が最適なことを見つけたことが最大の収穫でした。次第に琵琶湖の音色が定まって行く喜びは替え難いもので、手間や手の痛かったことが無駄でなく、作業の過程が有効な蓄積に変わって行きました。

これからは統一した正規の基準のもと、揃った足並みや価値観でもって伝えて行かねばなりません。「琵琶湖よし笛」が多くの方々に認知されつつあることは有難いことですが、一番の課題は愛好者の方々の力の継続と継承と考えています。よし笛が自然に忠実に澄んだ音色になるよう作り愛され、演奏されることが何よりも大切なことです。

見た目の形・綺麗さよりも、葦本来の姿・風にそよぐ葦原の美しさが自然背景となって、よし笛音楽の文化が心豊かに発展することを願っています。

琵琶湖よし笛と日本よし笛協会のあゆみ



C



ふるさとの自然の恵みから誕生した

「瓦奏琴」と「ヨシ笛」演奏ボランティア募集中

かわらミュージアムでは、音楽を通して郷土を紹介し、あわせて水環境を守る啓蒙の一助にと、近江八幡のいよし瓦と木製のヨシの地元産の材料から生まれた素材を使った打楽器「瓦奏琴」と管楽器「ヨシ笛」を制作しました。ミュージアムでは、いつでも気軽に演奏していただける方やグループをさがしています。年齢や経験は問いません。音楽やまちづくり・環境保護に興味のある方はぜひミュージアムの窓口までご連絡ください。

また、ミュージアムでは、「瓦奏琴」2枚の楽譜を授けました。ありがとうございます。

『がんばれ難病患者・日本1周遊助マラソン』が9月18日(土)、市内の国道8号線沿いを安土町から電玉町方面に向けて通りまわります。沿道で見かけたらぜひ力強いご声援をお願いします。

問い合わせ 滋賀県難病連絡協議会 077-582-9245

◆ 1998 年 (平成 10 年)

秋 琵琶湖よし笛誕生

琵琶湖畔に自生するヨシを使った世界で初めての縦笛式よし笛

考案者は、近江八幡市かわらミュージアムの初代館長菊井了(きくいさとる)氏 A

◆ 1999 年 (平成 11 年)

6 月 近江八幡市白雲館にて菊井氏による初めてのよし笛演奏会開催

8 月 20 日 知的所有権登録を行い 著作権を取得 B

9 月 1 日 近江八幡市広報誌 9 月号に演奏ボランティアの募集記事が掲載 C

9 月 11 日 「第 8 回八幡堀たそがれコンサート」に菊井氏出演

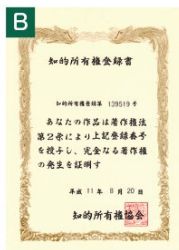
9 月 12 日 「お堀端宵涼みコンサート」にて、ほっとらいんの初よし笛演奏

10 月 14 日 第 5 回全国水の郷サミットにてよし笛演奏

10 月 15 日 初めてのよし笛演奏グループ「近江八幡びわ湖よし笛アンサンブル」が誕生 D

11 月 9 日 NHK 取材

12 月 24 日 NHK 「琵琶湖の聖なる調べ」が放映



◆ 2000 年 (平成 12 年)

10 月 よし笛コンサート (於：滋賀県立文化交産産業会館)

近江八幡市以外で初めてのよし笛啓発のための演奏会

◆ 2001 年 (平成 13 年)

3 月 1 日 おうみネット情報誌 22 号にて「近江八幡びわ湖よし笛アンサンブル」が紹介

3 月 11 日 「琵琶湖開き」観光船ミシガンでよし笛初の船上コンサートを開催 E

4 月 近江八幡市以外で初めてのよし笛演奏グループ「びわ湖よし笛アンサンブル・守山」が誕生

6 月 24 日 創作狂言「琵琶の湖(うみ)」に出演 (於：近江八幡市文化会館) F

「奏でる・語る・鑑る」流域フォーラムに於いて上演された狂言のなかで、音楽を担当

◆ 2002 年 (平成 14 年)

11 月 16 日 子ども環境創作狂言「芹川の四季」の中での音楽担当 (於：ひこね市文化プラザ)





◆ 2003 年 (平成 15 年)

- 2月11日 「西の湖宝さがしヨシ環境フォーラム」にてよし笛演奏 (於：西の湖周辺)
- 2月 「世界水フォーラムコンサート」 (於：琵琶湖博物館)
琵琶湖博物館開館一周年記念イベントとして開催
- 4月 川の未来を考えるコミュニケーションマガジン「ポータル」に「川と環境について」寄稿
- 5月 1日 ほっとらいん よし笛アルバム「湖の詩 Vol.1」リリース **G** **G**
2008 年「湖の詩 Vol.6」まで 毎年1枚リリース
- 7月20日 学習船「うみのこ」周航 20 周年記念式典に招かれ、ヨシの話とよし笛演奏
- 10月 2日 「滋賀地方安全衛生大会」にてよし笛演奏 (於：近江八幡市文化会館大ホール)
- 11月 7日 彦根市立若葉小学校の文科省指定道徳教育研究発表大会で公開授業に参加
5年生道徳「美しい自然を～びわ湖からの音色～」ゲストティーチャー



◆ 2004 年 (平成 16 年)

- 6月10日 公証人役場より 琵琶湖よし笛が菊井氏創作の楽器として「著作物存在事実証明」を取得
- 8月 7日 「第 24 回人権尊重をめざす女性のつどい」でよし笛コンサート (於：ハーティーセンター楽荘)
- 9月25日 「第 13 回全国ボランティアフェスティバルびわこ」にてよし笛演奏 (於：大津プリンスホテル)
清子内親王殿下隣席のもと行われたレセプション
- 11月29日 「日本保育協会近畿ブロック女性部研修会」にてよし笛演奏 (於：琵琶湖ホテル)

◆ 2005 年 (平成 17 年)

- 7月 1日 「愛・地球博」にて万博ドームでよし笛演奏
ドームでの演奏に向けて 琵琶湖をテーマとしたよし笛オリジナル曲「湖の願い」誕生
- 8月19日 同博の湖辺環境保全を訴える滋賀県パピリオンでよし笛製作と演奏を担当 **H**
～23日
- 11月 「日本よし笛協会」設立趣意書を作成
関係者や団体に協会設立趣旨の理解と葦笛音楽文化の創造への協力を依頼
- 12月 2日 特許庁に「琵琶湖よし笛」の商標登録を出願





◆ 2006 年 (平成 18 年度)

日本よし笛協会設立 目的 (日本よし笛協会会則)

当協会は、びわ湖・西の湖のヨシを使って創作考案された《琵琶湖よし笛》を原点として、よし笛を普及するとともに音楽教育の普及活動、地域に根ざした演奏活動、音楽家の育成・支援をおこない、「よし笛音楽文化の創造」をおこなうことを目的とする。

併せて、ヨシ原の保全をとおして、地球規模での自然環境を守る啓発活動においても寄与することを目的とする。

4月16日 日本よし笛協会設立総会開催 (於：近江八幡市文化会館小ホール 加盟：12グループ)
会長 西川嘉廣氏 **I** 理事長 菊井了氏 他常任理事 8 名 理事 14 名
午後 日本よし笛協会設立記念コンサート (第 1 回定期演奏会) **J**
よし笛に魅せられた仲間が初めて一堂に集結

5月26日 琵琶湖よし笛が商標原簿に登録されたことを証する「商標登録証」取得 **K**

6月24日 みんなで作る音楽会 (於：しが県民芸術創造館) に参加 1000 人の大合奏

8月20日 びわ湖児童よし笛アンサンブル結団式 (於：大津市民活動センター)
よし笛文化の普及とヨシ原などの環境保全を次世代を担う子どもたちに託すため設立 (第 1 期団員 小学生 20 名)

9月15日 滋賀県以外で初めてのよし笛サークル「京都よし笛アンサンブル・らくとう」誕生

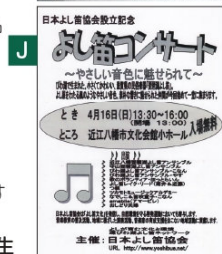
10月22日 琵琶湖博物館 10 周年記念行事に参加 (於：琵琶湖博物館)

1月23日 日本よし笛協会の内規《1》「協会に加盟するためのきまり」施行
日本よし笛協会の内規《2》「よし笛演奏・講師等の照会・依頼の処理について」施行
日本よし笛協会の内規《3》「CD 販売員制度」施行

3月10日 たたえあい交流会 (於：ピアザホール)
湖国まるごとエコ・ミュージアムづくりにエントリー
びわ湖児童よし笛アンサンブルが「まるごとエコ奨励賞 (銅メダル)」受賞

通 年 協会派遣事業 (ヨシ工作・よし笛コンサート等)

緑の少年全国大会 (希望ヶ丘公園)・子どもフェスティバル (県民芸術創造館)
地引網体験 (大津市北小松浜)・小学校よし笛コンサート (草津市立草津第二小学校)
おうみ市民活動屋台村 (マキノ高原)・全国豊かな海づくり大会プレイベント (琵琶湖ホール)
大津市民ヨシ刈り協賛よし笛コンサート (雄琴、アクティブホール) 等
公民館講座 (東近江市玉緒公民館、草津市志津公民館、湖南市菩提寺公民館)
環境講座・よし笛コンサート



◆ 2007 年 (平成 19 年度)

4月8日 第 2 回定期演奏会 (於：男女共同参画センター)

6月3日 第 2 回日本よし笛協会定期総会 (於：ウォーターステーション琵琶 加盟：17 グループ)

7月1日 1000 人の大合奏 (於：しが県民芸術創造館) 主催：滋賀県文化振興事業団
県民創作ミュージカル「わたしたちのいのちのアルトコリへ」を大合奏

9月6日 協会認定よし笛製作者誕生 初めての協会認定よし笛の製作者として 3 名に認定書を交付

9月9日 湖づくり活動推進大会 (於：しが県民芸術創造館)
「琵琶湖を守る湖 (うみ) づくりフォーラム」湖づくりキャンペーンの成果発表の場として開催

9月15日 よし笛講座開講 (於：京都アスニー)「呉山平煥先生指導の土曜連続講座 (全 9 回)」

9月 日本よし笛協会リーダ認定試験実施 3 名認定



- 9月～2月 脇本陣よし笛コンサート（於：観光物産館脇本陣） 主催：草津市観光物産協会
「草津市観光物産館」と宿場まち草津をよし笛コンサートでPR
- 10月 よし笛講座開講（於：旧社会保険センター） 全 11 回開催
閉講後「よし笛サークルゆりかもめ」誕生
- 11月 会員対象に「よし笛教則本」発行 日本よし笛協会教則本編集委員会（CD 付）
- 11月11日 第27回全国海づくり大会の各会場でよし笛演奏
～12日 当時の天皇皇后両陛下ご臨席のもと、琵琶湖湖の式典で、レイクリードがよし笛オリジナル曲
「湖の願い～煌めき～」を披露 / 後日、皇后陛下のご所望により、琵琶湖よし笛とアルバム
「琵琶湖の音色 Vol. 1」を献上 / 2日間6ステージのよし笛演奏
- 11月18日 第37回滋賀県芸術文化祭主催事業 近江・伝統文化の祭典（於：高島市今津総合運動公園）
- 1月19日 新春よし笛コンサート（於：湖南市甲西文化ホール）
「音楽の贈り物」～やさしい音色と心の出会い～
- 1月27日 たたえあい交流会（於：ピアザホール）
児童アンサンブルが「まるエコもったいない賞」を受賞
- 3月30日 関西マルチメディア（株）の夢のある人を応援するWEVプロジェクト「もっと家」で「優秀団体」に選ばれる
- 通 年 協会派遣事業（ヨシ工作・よし笛コンサート等）
びわ湖の恵み「よし笛」で遊ぼう（西武百貨店）・ピワズコンサート（アクア琵琶）
湖づくり活動推進大会（しが県民芸術創造館）・草津市民音楽祭小学校（しが県民芸術創造館）
近江・民族芸能祭典（今津総合運動公園）等
常任委員会 14 回 リーダー研修会 6 回

◆ 2008 年（平成 20 年度）

- 4月1日 日本よし笛協会の内規《1》「協会認定よし笛について」施行
日本よし笛協会の内規《2》「日本よし笛協会公認講師」施行
- 4月 滋賀リビングよし笛講座開講（月2回 3か月）
閉講後「よし笛サークル・すみれ」誕生
近江八幡市立島小学校での出張授業（総合的な授業、クラブ活動）
- 5月4日 第3回定期演奏会・前期（於：琵琶湖博物館 出演：8グループ63名）
- 5月11日 第3回日本よし笛協会定期総会（於：守山市民交流センター 加盟：18グループ）
- 8月2日 第3回定期演奏会・後期（於：琵琶湖博物館 出演：11グループ67名）
滋賀県芸術文化祭オープニング（於：ミシガン及び大津湖周辺）参加
リーダーアンサンブル名称決定「湖都音」 近江八幡市民公開講座で「湖都音」として初演奏
- 8月9日 よし笛子どもサミット開催（於：近江八幡ユースホステル 参加：ジュニアメンバー15名 講師スタッフ6名）
1泊2日のよし笛講座と環境講座を兼ね合わせた強化合宿
「びわ湖児童よし笛アンサンブル」は「よし笛ジュニア・アンサンブル」に改称
- 10月17日 文化庁「著作権登録」
- 通 年 近隣小学校での出張授業 L
協会派遣事業（ヨシ工作・よし笛コンサート定期演奏会 PR 等）
高津高校学習合宿（琵琶湖グランドホテル）・おおつ花フェスタ（大津湖畔なぎさ公園）
滋賀県栄養協会公開講座（近江八幡市人権センター）・親子環境学習会（東近江市立愛東北小学校）
子どもよし笛教室（彦根市子どもセンター）・ニューイヤーズよし笛ライブ（オスター・ジョー琵琶）
豊かな湖づくりフォーラム（ピアザホール）・NHK QP プラザ（於：NHK 大津放送局）等
講師会 14 回 リーダー認定 5 名 4 月キャリアアップ研修会（呉山平煥先生）



◆ 2009 年 (平成 21 年度)

- 4 月 4 日 第 4 回定期演奏会 (於: 安土文芸セミナーリヨ 出演: 15 グループ) **M**
《よし笛の日》の宣言
 「西の湖」から生まれた「よし笛」の発祥を記念し、その普及とよし笛文化を高めるため、4 月 4 日の「ヨシの日」に合わせて制定
- 5 月 10 日 第 4 回日本よし笛協会定期総会 (於: 守山市民交流センター 加盟: 19 グループ)
 「協会認定よし笛について」日本よし笛協会の内規《1》の変更修正、並びに実施細目施行
- 5 月 23 日 NHK「ラジオ深夜便」でほっとらいんの CD を紹介
 「よし笛」に関心を持った全国のリッスナーから CD の入手方法について各地の NHK に問い合わせ殺到
- 6 月 28 日 昭和を歌おう みんなで作る音楽会 (於: しが県民芸術創造館)
- 10 月 よし笛講座開講 (於: 多賀町中央公民館)
 閉講後「多賀よし笛愛好会」誕生
- 3 月 近江八幡市立島小学校卒業式において、卒業生がよし笛演奏を披露
- 通 年 協会派遣事業 (ヨシ工作・よし笛コンサート等)
 ガチャンコ祭り (近江鉄道彦根駅ミュージアム)・淡海環境クルーズ (おうみマリン船上)
 おおつ花フェスタ (大津湖畔なぎさ公園)・NHK QP ハートブラザ (於: NHK 大津放送局)
 豊かな湖づくりフォーラム (ピアザホール) 等
 常任理事会毎月 1 回 定演実行委員会 5 回 講師会 15 回 キャリアアップ研修会 (菊井了先生)

◆ 2010 年 (平成 22 年度)

- 4 月 4 日 第 5 回定期演奏会・前期 (於: 安土文芸セミナーリヨ 出演: 9 グループ) **N**
 舞台背景は近江八景風景写真 グループ数が増え、前期後期の 2 回に分けて開催
- 5 月 15 日 第 5 回日本よし笛協会定期総会 (於: 守山市民交流センター 加盟: 17 グループ)
- 5 月 22 日 国際生物多様性の日記念シンポジウム・オープニング演奏 (於: 琵琶湖博物館)
- 8 月 1 日 第 5 回定期演奏会・後期 (於: 琵琶湖博物館 出演: 9 グループ) **O**
 日本で行われた国際生物多様性条約締結国際会議 (COP10) にちなみ「生き物のにぎわいをよし笛で」をテーマに各サークル動物に関する曲を交えて演奏する
- 8 月 4 日 よし笛づくりセミナー (於: 守山市民交流センター・交流室)
- 8 月 29 日 第 40 回滋賀県芸術文化祭オープニングコンサート (於: 滋賀県立琵琶湖博物館)
 定演反省会・懇親会 (於: ライズヴィル都賀山)
- 12 月 11 日 レイクリード結成 10 周年記念コンサート (於: 栗東芸術文化会館さくら中ホール) **P**
 よし笛音楽を愛し支えて下さった方々に感謝するとともに、さらなる深まりを願い開催
 皇后陛下の御作曲「おもひ子」を演奏
 アルバム「琵琶湖の音色 Vol.2」リリース よし笛オリジナル曲も 3 曲収録
- 12 月 15 日 よし笛研修会 (於: 守山市民交流センター)
 よし笛の原点、選曲や演奏のポイント、ミニコンサート
- 2 月 23 日 KBS ラジオ「GO! GO! ユーストン」収録 (2 月 6 日オンエア)
- 1 月 19 日 講師認定試験 (コミュニティセンター野洲) ※ 1 名受験 講師認定
- 通 年 協会派遣事業 (ヨシ工作・よし笛コンサート定期演奏会 PR 等)
 おおつ花フェスタ (大津湖畔なぎさ公園)・草津でホテルを楽しむ会 (草津まちづくりセンター)
 草津街あかり・華あかり・夢あかり (伊砂砂神社)・NHK QP ハートブラザ (NHK 大津放送局) 等
 常任理事会 9 回 代表者会議 3 回 定演実行委員会 3 回 講師会 11 回



◆ 2011 年 (平成 23 年度)

- 4 月 2 日 第 6 回日本よし笛協会定期総会 (於: 安土公民館 加盟: 18 グループ)
よし笛の日記念フォーラム 講師 協会顧問 川戸良幸氏・森本光瑛氏
- 6 月 15 日 オープン講習会 (於: 水のめくみ館 アクア琵琶)
瀬田川洗堰と河川について タンギングの仕方 ミニコンサート
- 8 月 28 日 第 6 回定期演奏会 (於: しが県民芸術創造館 出演: 12 グループ)
全グループを二つに分け それぞれ隔年出場とする
前日 準備・リハーサル 定演反省会・懇親会 (於: あみ定)
- 10 月 12 日 よし笛製作者検定 (於: 守山市民交流センター) 合格 1 名
- 12 月 14 日 オープン講習会 (於: 守山市民交流センター)
「アメージング・グレイス」 よし笛奏法 ミニコンサート
- 2 月 29 日 講師認定試験 (於: 守山市民交流センター) 合格 2 名
- 3 月 11 日 ほっとらいん よし笛アルバム「湖の詩 SELECTION」リリース
岩手県石巻市 北上川のヨシ原復興支援
- 通 年 協会派遣事業 (ヨシ工作・よし笛コンサート・定期演奏会 PR 等)
第 41 回滋賀県芸術文化祭オープニングコンサート (於: ミシガン船上)
おおつ花フェスタ (大津湖畔なぎさ公園)・おうみ発 610 催しガイド放送 (於: NHK 大津放送)
えふえむ草津ラジオ出演 (於: 草津夢本陣 2 F) 等
理事会 12 回 代表者会議 3 回 定演実行委員会 5 回 講師会 17 回

◆ 2012 年 (平成 24 年度)

- 4 月 1 日 第 7 回日本よし笛協会定期総会 (於: 草津市立草津アミカホール 加盟: 17 グループ)
常任理事を理事に 理事を顧問に役職名を改正
午後 葦とよし笛の日記念フォーラム
講演「みんなで守るホタルと川」 講師「ホタルの学校」代表荒井紀子氏 (当協会顧問)
- 4 月 1 日 大津よし笛クラブ設立
協会加盟グループの中の 6 グループで結成
目的「よし笛音楽の普及と会員相互の研鑽交流を図る」
大津市文化連盟入会
- 5 月 9 日 よし笛公開講座開始 (於: 草津市立草津アミカホール) 全 6 回開催
閉講後「草津よし笛アンサンブル・ロータス」誕生
- 5 月 16 日 オープン講習会 (於: 大津市立伝統芸能会館) Q
「恵みにいだからて」誕生秘話と演奏指導
- 6 月 3 日 第 7 回定期演奏会 (於: しが県民芸術創造館 出演: 10 グループ)
前日 準備・リハーサル 後日 定演反省会・懇親会 (於: 野洲 舞扇)
- 6 月 日本よし笛協会全会員対象に意識調査のアンケート実施
- 7 月 滋賀の魅力ある文化を発信する機関誌「湖国と文化」夏号の特集に「ヨシものがたり」を寄稿 R
- 10 月 4 日 西川先生との思い出を語る会 (於: 琵琶湖汽船 MEGUMI)
- 通 年 協会派遣事業 (ヨシ工作・よし笛コンサート等)
大津夢灯かり (浜大津アーカス裏公園)・雄琴学区敬老会 (琵琶湖グランドホテル)
おおつ花フェスタ (大津湖畔なぎさ公園) 等
理事会 9 回 代表者会議 3 回 定演実行委員会 3 回 講師会 19 回



◆ 2013 年 (平成 25 年度)

- 4 月 6 日 第 8 回日本よし笛協会定期総会 (於: 琵琶湖博物館セミナー室 加盟: 21 グループ 会員 238 名)
午後「葦とよしの日」制定 5 周年記念シンポジウムとミニコンサート「琵琶湖と葦を通して見えるもの」
その他 ヨシ工作・子どもよし笛試奏体験・パネル展示・葦作品展示
- 6 月 12 日 オープン講習会 (於: 守山市民交流センター)
- 7 月 20 日 第 6 回水辺の匠 (於: ウォーターステーション琵琶)
- 7 月 31 日 しが・まなび・発見 (於: ピアザ淡海)
- 8 月 6 日 しが・まなび・発見 (於: 滋賀県立文化産業交流会館) with 協力事業 環境ゾーン参加とよし笛コンサート
- 8 月 3 日 第 8 回定期演奏会 (於: しが県民芸術創造館 出演: 11 グループ)
前日 準備・リハーサル 当日タ 反省会・懇親会 (於: あみ定)
- 2 月 8 日 よし笛製作者 1 名認定 (於: 守山エルセンター)
- 通 年 日本よし笛協会のほり (7 セット) S・ユニホーム (50 枚) 作成
理事会 12 回 代表者会議 4 回 講師会 16 回

◆ 2014 年 (平成 26 年度)

- 4 月 5 日 第 9 回日本よし笛協会定期総会 (於: 安土やすらぎホール 加盟: 21 グループ 会員 235 名)
午後 葦とよし笛の日記念フォーラム
- 6 月 12 日 オープン講習会 (於: 守山エルセンター)
課題曲「月の沙漠」を題材にポイントレッスンとミニコンサート
- 9 月 27 日 第 9 回定期演奏会 (於: 栗東芸術文化会館さくら中ホール 出演: 11 グループ)
前日: 準備・リハーサル 当日タ: 反省会・懇親会 (於: 魚新楼)
- 通 年 理事会 12 回 代表者会議 4 回 運営委員会 2 回 講師会 12 回

◆ 2015 年 (平成 27 年度)

- 3 月 28 日 第 10 回日本よし笛協会定期総会
(於: 守山エルセンター 加盟: 20 グループ 会員 237 名)
＜組織新制度への移行＞ 提案 可決
サークルの自主活動を活発化させるため現行制度を抜本的に改革
役員の業務を見直し、事務負担を軽減しスリム化
講師・講師会・顧問制度の廃止 会計事務を極力簡易化 等
- 4 月 4 日 三方葦 (よし) フェスタ (於: びわ湖大津館) T
日本よし笛協会設立 10 周年記念行事 夜 会員交流会
伴奏・模範演奏 CD2 枚付き「よし笛演奏曲集」発刊 U
一般対象に販売開始 協会員に無料配布
- 7 月 12 日 「横浜よし笛サークル・かもめ」協会加入
関東初のよし笛サークルとして 2009 年結成
- 8 月 24 日 よし笛製作講習会開始
- 10 月 9 日 第 10 回定期演奏会 (於: 栗東芸術文化会館さくら中ホール 出演: 13 グループ)
出場は自由で、エントリー制とする タ: 定演反省会・懇親会 (於: まかないや)
- 12 月 6 日 レイクリッド結成 15 周年記念コンサート (於: 琵琶湖汽船ピアンカ船上)
- 通 年 定演実行委員会 3 回 理事会 5 回



◆ 2016 年 (平成 28 年度)

- 3 月 26 日 第 11 回日本よし笛協会定期総会 (於: 西の湖すてーしよん 加盟: 27 グループ 個人会員: 7 名 会員 305 名)
午後 日本よし笛協会会員交流会 西の湖を望む会場にて 郷土料理と各サークルの演奏 V
- 4 月 びわ湖の恵み体験するフェスタ (びわ湖大津館)
ヨシネットワーク主催イベントによし笛演奏として 11 グループが協力
- 10 月 14 日 第 11 回定期演奏会 (栗東芸術文化会館さくら中ホール 出演: 10 グループ)
タ 定演反省会・懇親会 (於: ちゃんこ蔵南栗東駅前店)
- 通 年 定演実行委員会 2 回 理事会 5 回



◆ 2017 年 (平成 29 年度)

- 4 月 1 日 第 12 回日本よし笛協会定期総会 (於:近江八幡市文化会館 加盟:26 グループ 個人会員:8 名 会員 329 名)
午後 課題曲「海の声」と「夜明けのうた」を題材にポイントレッスンとミニコンサート
- 4 月 9 日 第 2 回びわ湖の恵みを体験するフェスタ (於:びわ湖大津館)
ヨシネットワーク主催イベントにより笛演奏として 10 グループが協力
- 8 月 「びわ湖音楽祭」に参加 「びわ湖音楽祭」は琵琶湖周航の歌誕生 100 周年を記念して開催 W
- 10 月 6 日 第 12 回定期演奏会 (於:栗東芸術文化会館さくら中ホール 出演:14 グループ 148 名 観客 254 名)
- 通 年 定演実行委員会 2 回 理事会 5 回

◆ 2018 年 (平成 30 年度)

- 3 月 31 日 第 13 回日本よし笛協会定期総会 (於:コミュニティセンターやす 加盟:27 グループ 個人会員:8 名 会員 326 名)
- 5 月 19 日 第 3 回琵琶湖の恵みを体験するフェスタ (於:びわ湖大津館)
ヨシネットワーク主催イベントにより笛演奏として 10 グループが協力
- 6 月 29 日 定演実行委員会 (於:安土コミュニティセンター大ホール)
午後 日本よし笛協会会員交流会 (参加者 135 名)
三重県の「ちよいまる」さんによる笛演奏と「よしきりの会」の安土郷土料理
- 8 月 31 日 定演実行委員会 (於:コミュニティセンターやす)
午後 第 1 回よし笛サロン 交流会よりも親密な交流の場として、新たに「よし笛サロン」をスタート
- 10 月 5 日 第 13 回定期演奏会 (於:栗東芸術文化会館さくら中ホール 出演:14 グループ 143 名 観客 282 名)
- 11 月 30 日 第 2 回よし笛サロン (於:コミュニティセンターやす)
- 1 月 「菊井式よし笛製作者協議会 ～リード・マム～」が発足 (会員 15 名)
「よし笛の館、展示工房」が開設 X
- 2 月 9 日 第 3 回よし笛サロン (於:コミュニティセンターやす)
- 通 年 理事会 3 回

◆ 2019 年 (平成 31・令和元年度)

- 3 月 30 日 第 14 回日本よし笛協会定期総会
(於:コミュニティセンターやす 加盟:30 グループ 個人会員:10 名 会員 345 名)
- 5 月 31 日 定演実行委員会
(於:コミュニティセンターやす)
午後 第 4 回よし笛サロン
- 6 月 19 日 京都新聞「凡語」に掲載 Y
- 8 月 30 日 定演実行委員会
(於:コミュニティセンターやす)
午後 第 5 回よし笛サロン
- 10 月 18 日 第 14 回定期演奏会
(於:栗東芸術文化会館さくら中ホール
出演 16 グループ 135 名 観客 294 名)
- 11 月 29 日 代表者会議 (於:コミュニティセンターやす)
「琵琶湖よし笛誕生 20 周年の集い」について詳細説明
メモリアル曲「時をこえて」発表
会員から募った言葉を基に作詞、作曲 近藤ゆみ子
午後 第 6 回よし笛サロン
- 12 月～ 記念誌資料収集 掲示板を活用し記念誌の編集
- 通 年 理事会 9 回 (集い実行委員会を含む)

Y
よし笛の音息を聴くと、心地よいの
6月19日
凡語
はなれたうたとよく思ふ。笛音から高
音まで伸びやかで遠く通るような音は
素朴な飾り気がなく、「庵の音」
とも呼ばれる。今では滋賀を中心に吉
地やサールが生まれ、愛好者の数も増えて
いるが、ききうとした音階を持つ琵琶湖と
して登場したのは1999年だ。さほどと
古い話ではない。その考案者である近江八幡
市の菊井さん(以下)によれば、一定の本さ
のヨシを用い、マンリブスに竹を使うなど
工夫を重ねてオクターブの音高が出るよう
になったという。よし笛は新楽器のものは古
くからあったが、簡単な音が出る笛のよう
なものがないで、歌からピアノ、クラ
シックに至るまで幅広く演奏できるものは国
内になかったという。楽器のシンドの縁は深
い。木製楽器のルーツはヨシ製の笛とされ
るし、中国の民族楽器「リウ」なども元はヨ
シで作られていた。雅楽の雛もリード部分
はヨシである。誕生から20年の節目を迎えた
菊井さんのよし笛は、そんな歴史をもつなが
つていて、琵琶湖のヨシ群落は年に制定さ
れた県の保全条例で一定面積したものを目
標値の道は、ヨシ自身が発する自然な響
きを通じ、命を育む水環境目を育ててもら
いたい。菊井さんの変わらぬ願いである。

◆ 2020 年 (令和 2 年度)

- 4 月 26 日 第 15 回日本よし笛協会定期総会 (加盟 29 グループ 個人会員 11 名 会員 324 名)
新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面評決
- 6 月 1 日 琵琶湖よし笛誕生 20 周年記念誌発刊

近江八幡琵琶湖よし笛アンサンブル

人数 10人

結成年月日 1999年10月

協会加盟日 2006年4月

主な活動地 近江八幡市

菊井了氏が「かわらミュージアム」の館長をされていた時に、近江八幡市の広報でメンバーを募集され、よし笛の誕生（1999年）を記念してつくられた、日本で最初のよし笛サークルです。

当初のメンバーのなかには、現在講師になられた方や日本よし笛協会の中心となり、活躍されている方がおられます。今は、結成時とはメンバーも随分変わりました。

最初の講師は、菊井了先生から太田麻里先生へ、現在の講師は松島信子先生です。松島先生には、ハモリや編曲をしていただいたり、月1回私たちのペースに併せたご指導をしていただき、メンバーみな感謝しております。

近江八幡市民文化祭をはじめ八幡堀たそがれコンサート・東漸寺大祭・地域サロン・デイサービス・老人保健施設・老人クラブ大会・サービス付高齢者住宅での演奏など、幅広くボランティア演奏をしています。

心に響く優しい音色を大切に、和気あいあいと楽しみながら、よりよい人との交流をめざし練習に励んでいます。



▲近江八幡市文化会館での自主練習



▲近江八幡八幡堀まつりにて



▲むべの里にて 2020/1/11



▲むべの里新年会 2020/1/11

▼メンバー 2019/12/16

練習場所

近江八幡文化会館

練習日

毎月 第3月曜日
9:00～12:00

毎月 第1日曜日
13:00～16:00



Caña(カーニャ)

人数 6人

結成年月日 2012年5月1日

協会加盟日 2012年5月1日

主な活動地 大津市

2012年5月1日にスペイン語で「よし」という意味の「カーニャ」と命名し発足しました。よしは世界各地に存在していますが、西の湖のよしの美しい音色にひかれて、40代から70代の幅広い年齢で集まりました。発足時2才であったメンバーの子供が小学4年生になり、イベントや演奏会ではお手伝いをしてくれ、3世代和気あいあいと活動しています。

選曲に苦勞する事もありますが、お互いに認め合うこと、そして笑顔で楽しく演奏し、楽しく聴いて頂くことを第一に考えています。

2019年1月にピアザ淡海でロビーコンサートをさせて頂きました。カーニャ単独で1時間以上にわたる舞台は初めての経験で演出も練習も大変でしたが、よし笛以外の色々な楽器も併用しお客様と一体になりました。これを機にカーニャが一回り大きくなれたのではないかと思います。

今後も益々よし笛を楽しみたいです。



▲ピアザ淡海ロビーコンサート



▲よし笛の精「カーニャン」

練習場所

膳所公民館

練習日

毎月 第1・3火曜日
13:00 ~ 16:00



▲大津よし笛クラブコンサート

鏡花水月

人数 8人

結成年月日 2011年10月1日

協会加盟日 2015年4月18日

主な活動地 滋賀県

『鏡花水月の誕生』

平成23年、子育て支援スタッフと施設を利用するお母さん達で地域交流とボランティア活動を目的に結成しました。
 名前の由来は、鏡に映る花・水に映る月。
 手に取ることはできないけれど、目や心で感じることはできる。
 私たちの演奏もそうでありたい。そんな演奏ができますように。
 との思いでつけました。



▲鏡花水月エンブレム

『あれから9年』

「大人の部活動」と銘打って、とことんアンサンブルにこだわり、息の入れ方、腹圧、リズムなどの基本練習を中心に、曲のイメージや曲に込められた思いを、1曲1曲大切に練習しています。オリジナルのアレンジで戸惑いながらも、今では演奏した曲が100曲を超えました。

『おいしいちゃん・おばあちゃんとよし笛』

これまで、主に、地域のサロンや敬老会に沢山参加させていただきました。よし笛の音色を聴き、涙される方や「又、聴かせてね!」と言ってくれる方々、そこにはいつも笑顔と優しい空気が流れています。温かな拍手の中、「あーよし笛に出会えて良かった!」と心から思える感動の時でもあります。

『よし笛との出会い メンバーの眩きより』

- ・よし笛を初めて「目にした時」…これで音楽ができるのか?と思った。
- ・よし笛を初めて「手にした時」…こんな軽い物で人々に届く演奏ができるのか?と不安だった。
- ・よし笛を初めて「吹いた時」…こんな素敵な音色が出るんだと驚いた。そして、この1本のよし笛で何かを伝えられたらもっと素敵だと思った時、心がドキドキ・ワクワクした。
- ・演奏会で初めて「菊井先生と演奏できた時」…こんな夢みたいなおとこある?仏教讃歌を吹いた令和元年、初めて胸が踊った。

『鏡花水月の夢』

菊井先生のお話の中から、「よし笛の特性・製作への思い」などを学ばせていただき、技術面だけではなく、深い思いを込めてよし笛に向き合う自分たちでありたいと思うようになりました。

日本古来からの伝統音楽や楽器の素晴らしさにも目を向けながら、新たな日本楽器としてのよし笛で、歴史を刻む。これが、鏡花水月の一番の目標です。

練習場所

地域子育て支援拠点
 つどいの広場
 童夢の館 どむどむ
 (東近江市下里町)

練習日

毎月 第2・4木曜日
 20:00～21:30

毎月 第3土曜日
 13:30～16:00

『琵琶湖よし笛』

小さなよし笛が大きく羽ばたく、「日本中に・・・世界中に・・・」
 そして ～時をこえて響き渡る～ 未来永劫、愛されることを願い、
 伝承していきたいと心から思います。



▲練習風景



▲子育て支援童夢の館どむどむ春まつり

京都よし笛アンサンブル・らくとう

人数 13 人

結成年月日 2006年9月15日

協會加盟日 2006年9月15日

主な活動地 京都市

2006年9月、日本よし笛協会、県外グループの京都地区、第1号として7人で立ち上がり
ました。グループの名前も「京都よし笛アンサンブル・らくとう」と、大変長い名前となりましたが当初、他に「らくせい」・「らくなん」・「らくほく」・「らくちゅう」とグループができる
ことを期待しつつ「らくとう」とつけました。が、 いまだ我がグループにとどまっており、ちょっ
ぴり残念な思いであります。しかし、周辺では、よし笛愛好人口は確実に増加傾向にあり、よ
し笛魅力の認知度及び存在感を肌で感じています。

よし笛を通じて特に心に残る演奏がありました。ハワイアンシリーズとして演奏した「第10回定期演奏会」の出演です。よし笛だけでなく、会員さんによるわかひのフラダンスを取り入れ、さらに演出をとハワイアンギターを買い求め必死に練習に励み、おかげさまで無事乗り切れた充実感はいまだ脳裏に焼き付いています。よし笛の楽しさを存分に味わったひと時でした。

設立から十数年、高齢化が進む中、できる限り雑談の時間も取り入れ、一泊旅行に出かけるなど、楽しいグループをモットーに、よし節との出会いにただただ感謝しています。



▲京都新聞 2007.4.21 京日記にて

第14回定期演奏会メンバー▶



練習場所

京都市下京いきいき市民活動センター

京都市山科区安朱自治会館

練習日

毎月 第3金曜日 13:00 ~ 15:00

毎月 第1金曜日 13:00 ~ 15:00

草津よし笛アンサンブル・ロータス

人数 23人

結成年月日 2012年7月

協会加盟日 2012年9月7日

主な活動地 草津市

2012年5～7月に草津アマカホールで開かれた「アマカよし笛講座」が終わるとすぐに、受講生を中心に結成しました。

グループ名のロータスは、草津市烏丸半島のハスの花をイメージして、名付けました。

発足当時は平本啓子先生に、お世話になっていました。現在は奥村美和子先生にご指導いただいています。午前10時から退室時間ぎりぎりの12時まで、頑張って練習しています。唱歌や懐メロ、季節の歌などをレパートリーにして、地域の施設訪問を定期的に行なっています。訪問前には、できる限り良い音色を聴かせたいという思いで練習をするので、技術向上にもなります。最近では「津軽海峡冬景色」や「天城越え」、「北酒場」などの演歌や、「モルダウ」などのクラシック曲にもチャレンジし、好評を得てますます練習に励むようになりました。演奏の最後は「琵琶湖周航の歌」で締めています。今までは、講師の先生ご指導のもと、週2回の定期練習をしていましたが、今年度から自主練習を増やし、ますます熱意を持って取り組むようになりました。

訪問先の皆様に喜んでいただくことが、私達の喜びであり、やり甲斐でもあります。訪問前に演奏曲をお知らせすると、歌詞カードを用意してくださって、一緒に歌って楽しんでもらおうと、私達も一層楽しく、演奏に力がこもります。毎月、3ヶ月毎、クリスマス会の時と、定期的に訪問させていただいている施設の他に、社会福祉協議会を通じて依頼があったり、口コミでオファーが来たりで、結構忙しく演奏活動をしています。

よし笛のおかげで、共通の趣味を持った仲間と出会えました。演奏を楽しんでいるのも元気の素になっています。よし笛に感謝です。

練習場所

アマカホール文化教室

練習日

第1水曜日（自主練習）
10:00～12:00

第2・4水曜日（定期練習）
10:00～12:00

全員集合記念写真▶
(草津市まちづくり協議会取材)



JA草津市女性部の家の光大会



練習風景



湖南省琵琶湖よし笛アンサンブル

人数 16人

結成年月日 2009年4月

協会加盟日 2009年4月

主な活動地 湖南省

私たちのグループは2009年4月に発足し、まる10年が過ぎました。グループ発足時から数年、菊井先生の指導を頂きましたが、現在は近藤先生に指導頂いています。発足後、よし笛協会定期演奏会に数回出演しステージでの演奏での高揚感も体験しました。しかし、数年前からメンバーの意向もあり今は見学のための参加になっています。

2016年4月には7周年記念として「春風にのせてよし笛！Nじゅらく」と銘打って独自の演奏会を開催しました。100席ほどの会場が満杯で追加の椅子が必要になるほど盛会になりました。ドキドキ感での開催でしたが演奏後グループ全員が満足感に酔いしれ高揚していました。本当に良い経験をさせていただきました。

現在スタート時のメンバーの大半が退会されましたが、残った数名の方を中心に以後新たに参加した者を含め仲良しメンバー16名（内男性4名）が在籍し、毎週水曜日PM1:30～3:30迄よし笛を楽しみながら練習しています。また、毎月1～2回程度、湖南省を中心に近隣の街の老人ホーム・デイサービス・各自治会で開催のサロン等いろいろな施設を訪問してボランティア演奏活動をしています。いずれの会場でもよし笛の説明を行い興味深くお聞きいただき、演奏後にはよし笛の音色に癒されたと喜んでいただいています。

毎年12月の最終練習日にはクリスマスパーティーを兼ねた懇親会を開催しグループの親睦を深めています。メンバーは高齢化が進んでいますが、これからも仲良しメンバーがよし笛の音色を楽しみ、練習を重ねボランティア演奏活動を続けて行きたいと思っています。



▲2019年12月18日懇親会終了時



▲元気いっぱいのメンバーで記念写真

練習場所

湖南省社会福祉協議会内

練習日

毎月 第1・2・3・4水曜日
13:30～15:30

湖南省ボランティア祭り



多賀よし笛愛好会

人数 11人

結成年月日 2010年1月

協会加盟日 2010年6月8日

主な活動地 多賀町

グループ結成は遡ること10年前、多賀町が企画されたよし笛講座に参加したのをきっかけに、ますますよし笛の澄み切った音色に魅了された仲間が、「多賀よし笛愛好会」グループを立ち上げスタートしました。

多賀町文化協会にも加盟して、活動は幼稚園、自治会、介護施設などからも、よし笛演奏の依頼をいただき、舞台上立つ怖さ知らずの反省を繰り返しながらこれがいつの間にか継続の力となり、多くの方と結びつけるよし笛の澄み切った音色に支えられ、これからも地域の方々に親しまれるサークルとしてだけでなく、自らもいつも初心に戻ってワクワク感をもって元気で楽しく活動していきたいと思っています。

練習は月二回の第二・第四金曜日13時から多賀町中央公民館「結いの森」で先生の指導をいただきながら、次の演奏に向けた練習に励んでいます。

近くには鈴鹿山系を源にした芹川が流れ、よし笛の澄み切った音色が川面を伝い清流と青空に包まれた自然豊かな環境も、癒されるひと時の楽しみのひとつです。



▲多賀サロンでの出前演奏



▲公認講師 松島先生と練習時のひととき

多賀町の
マスコット
キャラクター
「たがゆい
ちゃん」▶



練習場所

多賀町中央公民館
結いの森

練習日

毎月 第2・4金曜日
13:00～16:00



▲多賀小学校児童での出前演奏

西の湖 グラス アンサンブル

人数 6人

結成年月日 2014年7月1日

協会加盟日 2015年4月17日

主な活動地 滋賀県

※よし笛教室

塚本楽器 近江八幡店では、月に一回菊井先生のよし笛教室が行われています。予約なしで誰でも受講でき、一回のみの受講も可能で、初めて吹こうという人が沢山来られます。受講のきっかけは、

○琵琶湖の環境に興味があり、学習会に参加する中で、よし笛と出会った。

○音楽祭で独奏に魅了され感動した。

○田舎に帰ってきたら、よし笛ロードが出来ていた。よし笛って何々？ 興味津々で塚本楽器店の教室へ。など、様々です。教室が始まった頃は、一度きりの受講者が多く、毎回知らない人の集まりでした。年月を重ねて次第に短期の人も増える中、毎月継続受講する人が定着してきました。

※西の湖 グラス アンサンブルのあけほ

「教室だけでなく、グループを作ったらどうですか」と菊井先生に勧めて頂きましたが、教室で会うだけの名前も知らない、住む地域も違う私達は中々、決断に至りませんでした。

教室では、よし笛製作の起源から扱い方など、演奏以外のことも学ばせていただき、徐々にここに集まるみんなで演奏してみたいと思う気持ちがひとつになりました。

グラスのマスコットヨッピちゃん



※西の湖 グラス アンサンブルの誕生

グラスとは、動作や態度が、優雅、気品、しとやかさ、と言うことから名付けましたが、私たちは元より、私達が演奏するよし笛が、人を惹きつける美点や魅力、愛嬌があればいいと言う願いを込めています。結成は10人でスタートしましたが、現在は6名で活動しています。少人数でスキルが求められるため、依頼や演奏会を控えている時は練習日を増やし自主練習も心掛けています。楽譜、伴奏、アレンジはメンバーでしており、みんな得手直しするのは勉強になり楽しい時間です。限られた時間を有効に使い、お互いに注意し合ったり、褒めあったり、疲れが音に出ると尋ね合い、何でも言い合える仲間となりました。

※西の湖 グラス アンサンブルのこれから

アンサンブルでは、繊細な楽器だからその音程を合わせる難しさがありますが、きれいに響き合った時には、一人で演奏するよりも何倍もの楽しさと感動を味わえます。

菊井先生の「ただ まっすぐに素朴に吹いてください」この言葉の重みを理解し、よし笛教室で基礎を学びながら演奏に生かします。

教室ではメンバー以外の方との出会いも大切に交流を深め、和気あいあい明かるく楽しい仲間作りに繋げていきたいと考えています。



▲グラスのエンブレム

塚本楽器店 よし笛教室▶

練習場所

塚本楽器 近江八幡店

練習日

毎月 第1火曜日
よし笛教室終了時～ 16:30



▲練習風景



◀第14回
定期演奏会
出場

浜大津よし笛サークル

人数 18人

結成年月日 2014年11月

協会加盟日 2015年4月1日

主な活動地 大津市

平成26年夏から秋にかけて、浜大津にある明日都でよし笛の体験講座が2度にわたり開催された。2講座合わせた受講生の中で、講座終了後もよし笛を続けたいという希望者が半数弱あり、今後は新たなグループを結成するよう求められた。その内の数名は既にあるグループへの加入を希望し、その他の者だけで11月に立ち上げたのが「浜大津よし笛サークル」の誕生である。

発足当時のメンバー8人は2年後には4人に減ったが、創設以降に新人が入会、退会を繰り返しながら少しずつ会員数が増え、5年を経た今（令和元年末時点）は18名までになった。

会員の構成は女性12名に対し男性6名と、他のグループに比べ何故か男性の比率が非常に高いのが特徴である。練習場所は、京阪びわこ浜大津駅の直ぐ傍にありアクセスが良いが、メンバーの住まいは北は南小松から南は大石までと、南北に細長い大津市の北端から南端までに及んでいる。

会員のよし笛の経験年数は、5年から1か月と非常に幅広くに亘るが、講師の指導よろしく月2回、一緒に仲良く、そして楽しく練習に励んでいる。発表会は、大津市内での他のグループとの共同発表会に毎年2回参加してきているが、施設へのボランティア演奏は経験が少ない。今後は、各種施設へのボランティア演奏に力を入れていきたいと話している。



▲練習風景

練習場所

大津市民活動センター
「明日都浜大津」内

練習日

毎月 第2・4火曜日
14:00～15:30

▶第5回大津よし笛クラブ・コンサート



びわ湖よし笛アンサンブル・こなん

人数 7人

結成年月日 2004年6月6日

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 大津市

2004年6月、よし笛の音色に惚れ込んだ10人ほどが大津市で初めて発足させたグループです。素人ばかりで運指もわからず音がまともに合わなかったりでしたが、平尾美季先生の指導のもと色々な曲が吹けるようになったそうです。

その後、数人の先生に教えていただき現在は、仲川瑞枝先生にお世話になっております。

練習場所はウォーターステーション琵琶で実施しています。そのほか、琵琶湖の環境保全のために活動されている「琵琶の会」と共に、年2回開催される環境イベント「水辺の匠」や「クリスマスイベント」では、琵琶湖のよしを使った工作「ヒンメリ」作りと、よし笛演奏をしています。

琵琶湖の美しい自然と音楽を愛するメンバーが、よし笛の素朴な音色に癒され仲良く楽しんで活動しています。

長く頑張ってきた先輩たちの思いを大切に、老人施設や地元イベントなどの演奏ボランティアに前向きに取り組んで行けたらと思っています。

主な出演実績

- ・アンジェスおこと
- ・デイサービスあろは
- ・コンソルテ新緑苑
- ・くろづ外科医院デイケア
- ・瀬田東学区文化祭
- ・水辺の匠
- ・クリスマスイベント



▲練習風景

▼クリスマス演奏会での集合写真

▶よし工作「ヒンメリ」



練習場所

ウォーターステーション琵琶

練習日

毎月 第2・4金曜日
13:30 ~ 15:00



びわ湖よし笛アンサンブル・やす

人数 25人

結成年月日 2005年2月

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 野洲市

記念誌掲載にあたり、私たちサークルの歴史を紐解くこととしました。

琵琶湖よし笛が誕生し 近江八幡、守山、大津とサークルができ、「次は野洲あたりで」ということになりました。そして、「びわ湖よし笛アンサンブル・こなん」の有志の方々を中心に口コミで集まった人と共に、2005年2月「びわ湖よし笛アンサンブル・やす」が誕生しました。

時を同じくして、MIKI先生が退職され、指導者として参加していただきました。野洲広報にメンバー募集記事を載せたり、イベント会場にてメンバー募集のビラを配ったり、街頭でワンコインコンサートを開催したりしてサークルの周知を図りました。

たくさんの活動が実を結びメンバーは確実に増え、今「やす」は、総勢25名。誕生当初ゼロだった野洲市民も半数以上となり、野洲の市民活動団体としてもしっかり位置付けました。

練習は、野洲図書館において、第1、第4水曜日はMIKI先生の手ほどきを受けます。ほめ上手の先生は私たちを温かく指導して下さいます。第2、第3水曜日は会議室での自主練習。アットホームな雰囲気の中に、「自主練習という名の特訓かしら？」という声もあります。

毎年6月第1日曜日に野洲図書館ホールで行われる“やすまる広場”の中の音楽広場での演奏は、一般の方々に聞いていただける数少ない機会です。

ボランティアで伺っている高齢者施設は6か所で各々年3回。病院や学校など毎年寄せていただく所もあります。その他、メンバーの口コミを通じての演奏要請や、野洲市民活動センターを通じての演奏要請など、ある時はご本尊の前で数珠を片手に、またある時は、吹きすさぶ琵琶湖に向かってと多種多様な活動をしています。そして2019年には、びわ湖ホール大ホールのステージに立つこともできました。

会員同士の最大のコミュニケーションの場は、年末忘年会。忘年会の日には、一年の総決算の発表会を行います。原則一人一曲、メンバーの前にマイクも準備し、平尾ダーリン先生の生伴奏付きという、すごく贅沢なひとときです。先生からの講評は一切ありません。メンバーの自由な選曲で、聞いていて驚きの嵐です。優しい刺激と温かい絆を深めるワクワドキドキのひとつときとして定着しています。



▲ 2018年守山市西本願寺赤野井別院



▲ 2019/5/12 びわ湖ホール「リハーサル室」にて

練習場所

野洲図書館

練習日

毎週 水曜日

13:15 ~ 15:00

2020年吹き初め▶



笛吹童子

人数 11人

結成年月日 2019年4月1日

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 大津市

○笛吹童子の設立とあゆみ

私たちのグループは、2012年「笛吹童子」より「笛吹童館」として再スタートしました。

グループ名の由来は、5人のメンバーは、男性のみ。その合計年齢が360歳で、容姿がどう見ても子どもでなく、童館であったところから改名しました。メンバーの大半は、よし笛経験者であったので、すぐにボランティア活動を行い、よし笛を通じ、よし笛の伝承やヨシが琵琶湖の環境に大切なことを、訴える環境音楽団体として展開してきました。私たち「笛吹童館」のロゴマークは、大津絵でお馴染みの「鬼の笛吹」です。よし笛が滋賀県発祥の民族楽器であるところから、大津絵も近江の民族画であるので、同じ民族芸能として、採用しました。

○笛吹童館のコンセプト

音楽は、人の心を慰め、豊かにします。音楽を演奏することも、自ら楽しむことができ、心をなごやかにすることが出来ます。人生の後半において、演奏を聴いて下さる方々と共に楽しみ、健康維持にも良いよし笛演奏を目標としています。また、ヨシは水を浄化する働きがあると共に、琵琶湖の環境に大きく貢献していることを、子供たちによし笛工作を通じ周知することも大きなコンセプトとしています。

○印象に残った活動や定期演奏会

- ◎児童クラブ・子供会より、出前演奏後お礼状や、感想文集を送っていただいた事
- ◎叙勲の披露宴で演奏曲に感銘をいただき、お礼状をいただいた事
- ◎障害施設へのよし笛演奏により、患者さんの病状が改善されたお礼の電話をいただいた事
- ◎野外舞台（トラック荷台）での演奏で、夕立にあい、びしょぬれになり演奏を続けた事
- ◎私立高校で8月かかりマイよし笛製作指導を行い、マイよし笛・コンサートが出来た事
- ◎第8回定期演奏会で、虚無僧（コムソウ）姿の尺七（柄杓笛）演奏が非常に話題になりました。

○今後の課題

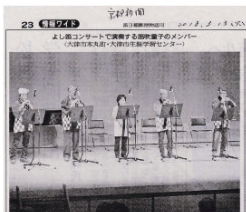
2018年、会員の高齢化と遠距離からの練習に伴い、サークルの存続問題を検討、新会員の募集を実施、2019年年初、新しく女性メンバー7名が入会され、メンバーの入れ替えにより、サークル名も「笛吹童子」に戻し9名でスタートしました。課題としては、新しいメンバーが新しいカラーで、よし笛音楽を楽しむと共に、従来からの指導者：仲川先生の月2回の指導で、早く演奏に磨きをかけ活動の展開を図りたいです。



▲笛吹童館 2013年8月3日



▲まなび村イベント 2019年3月16日


 ▲2018年3月13日
京都新聞

練習場所

ウォーターステーション琵琶

練習日

 毎月 第1・3木曜日
13:30 ~ 15:00

 ▲第1回大津よし笛クラブ・コンサート
2015/11/29

ほっとらいん

人数 2人

結成年月日 1982年3月

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 滋賀県

1999年8月末に近江八幡市の広報で『「ヨシ笛」演奏ボランティア募集中』という記事を見つけ、かわらミュージアム館長だった菊井さんを訪ねて行ったのが「よし笛」との出会いです。既に夫婦で「コカリナ」と「ギター」の演奏ユニットとして活動していましたが、「よし笛」を使うようになってからは表現の幅が広がり、環境問題を考えるイベントや自然の中での演奏依頼も数多く頂くようになりました。

2003年3月からは「湖の詩(うみのうた)」と名付けた「よし笛」と「ギター」のオリジナルCDを6枚リリースして、よし笛の魅力を広めるお手伝いが出来たと思っていますが、特に2009年5月23日にNHK第一放送の「ラジオ深夜便」で取り上げていただいた時には、ラジオを通して初めて「よし笛」の音色を聴かれた全国のリスナーが、各地のNHKに「CDの入手方法を知りたい」と問い合わせてくださいました。事前にNHKの方から「たぶん反響は大きいですよ」と言われていたものの、想像をはるかに上回る反響に改めて「よし笛の音色の魅力」を実感した出来事でした。

2012年3月には既存CDから56曲をセレクトしたアルバム「湖の詩 SELECTION」を作り、その売上金からNPO法人「りあすの森」を通して、震災被害によって激減した石巻市北上川の葦原復興支援活動に役立てていただいています。「りあすの森」のみなさんと交流する中で、2019年9月には北上小学校で特別授業として子どもたちに「よし笛」を聞いてもらうことも出来ました。こうした支援活動は、今後も細く長く継続していきます。

呼んでいただければどこへでも気軽に出發して行って演奏することをモットーに、ガット・ギターのやわらかなギターの伴奏で、童謡・唱歌からポピュラー・ミュージックまで、幅広いジャンルのレパートリーを臨機応変にお届けしています。演奏予定やCD販売など、詳しくはひらがなで「ほっとらいん」を検索してホームページをご覧ください。



石巻市・北上小学校

▲ 栄区民文化センター
リリース(横浜市)◀ 石巻市北上川の
葦原復興活動を
支援するCD
「湖の詩
SELECTION」

◀ Jazz Cafe Yugeya(近江八幡市)

マリーよし笛サークル

人数 6人

結成年月日 2010年4月1日

協会加盟日 2015年5月27日

主な活動地 大津市

マリーよし笛サークルです。よろしくお願いします。琵琶湖の西、大津京駅前のマンションで活動しています。

最初に私たちが「よし笛」に出会ったのは、10年ほど前のことです。私たちの住んでいるマンションでシニアクラブの新年会が開かれた時に「ほっとらいん」の平尾先生ご夫妻の演奏がありました。今までに見たこともない楽器で素晴らしい「よし笛」の音色にうっとり聴き入っていました。

その時、音楽好きのシニアたちが感動して同時に思ったことは、「これ、みんなでできそうかよね！」それ以来、私たちは、よし笛の魅力にはまってしまうました。

それから、平尾美季先生にお願いして、月1回ご指導をいただくようになりました。

初めの曲は「かえるの合唱」でした。音を出すのがやっとで、タンギングもままならず、諦めた人も少しいました。それでも、何人かは少しずつ頑張って「ふるさと」「びわこ周航の歌」と徐々にレパートリーを広げていきました。外部からも「演奏してください」と依頼もくるようになりました。演奏の機会が増えることは、練習にも熱が入るので、断らずに受けるようになってきました。

その頃は、今よりメンバーも多かったのですが、転居されたり、体を壊されたりして休止されて、現在は6人で頑張っております。なかなか「よし笛」の奥深くへは、到達しそうにもありませんが、日々、練習に励んでいるこの頃です。

このような私たちですが、今では「よし笛」に感謝して楽しんでおります。

主な演奏実績

- ・シニアクラブの新年会（毎年）
- ・マンション内のロビーコンサート
- ・マンションの音楽祭
- ・長等市民センターの集会
- ・唐崎デイサービス
- ・高槻「ことば絃の会」
- ・老人ホーム
- ・よし笛定期演奏会

練習場所

大津マリーマンション内

練習日

毎月 第1・2・3火曜日
19:00～21:00

▲高槻市「ことば絃の会」にて

南の風よし笛アンサンブル

人数 17人

結成年月日 2011年4月20日

協会加盟日 2012年3月1日

主な活動地 彦根市

私たちのグループは彦根市南地区公民館のよし笛講座としてスタートし現在で丸8年が過ぎましたが、ほぼスタート時のメンバーが続いています。近藤ゆみ子先生の厳しく温かいご指導のもと、レパートリーも今では軽く100曲を超えました。

グループ名は活動場所の南地区公民館にちなんでいます。教室は田園地帯にあり、窓の外には一面の緑の田畑が広がり、荒神山や県立大学の塔の向こうに、青空と白い雲を背景にして遠く比良山脈が続いています。こんな絵のような景色を眺めながらよし笛を吹く幸せ。音符が風に乗って空へ飛んで行くような気がします。～♪～

私たちのグループはハーモニーの心地よさにはまっています。自宅での一人の練習ではハモれないこともあり、定例のレッスンのほかに、第2・4金曜の自主練習日もメンバーの多くが参加してアンサンブルを楽しみ、レベルアップを目指しています。

演奏活動としては、定期演奏会、大津館でのフェスタ、南地区公民館の文化祭、ひこね文化プラザでの「プラザフェスティバル」には2017年から連続出場、また彦根市社協のボランティア登録団体として、高齢者施設や地域の施設・サロンなどでボランティア演奏を行っています。2016年にはひこね文化プラザのメッセホールで、設立5周年コンサートを行うことができました。当日は協会所属の他のグループの方々もお越しいたいて会場は満席になり、私たちも感動で胸いっぱいでした。

よし笛に魅かれて始まったグループですが、共によし笛を学ぶうちに仲間意識も芽生え、いつも楽しく笑いが絶えません。平均年齢の高い私たちにも新しいお付き合いや友達の輪が深まっていくのはうれしいことです。これからもいつまでも、よし笛を楽しみ、よし笛のすばらしさを伝えていきたいとグループ一同で願っています。

▼設立5周年コンサート 2016/12/23



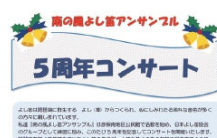
▲南地区公民館文化祭 2019/11/9



▲社協ひこね広報紙 2019年6月号



▲デイサービスのクリスマスボランティア演奏 2019/12/23



▲デイサービスのクリスマスボランティア演奏 2019/12/23

練習場所

彦根市南地区公民館

練習日

毎月 第1・3金曜日
10:00～12:00

5周年▶
コンサート
チラシ

守山琵琶湖よし笛アンサンブル

人数 15人

結成年月日 2001年4月

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 守山市

2001年守山市の小津会館の自主教室から生まれたよし笛のサークルです。講師はよし笛の生みの親である菊井了先生。主に地元のイベントやディサービス、サロン等でのボランティア演奏のほか、小・中学校や博物館での環境学習に参加するなど多種多様な活動を続けています。

楽器については、その後、よし笛に加え自然の音色を大切にしようという思いから、竹や木、変わり種としては石を使った石琴など自然素材を使った手作りの打楽器を取り込んで、まさしく"音"を楽しむ活動をしています。一本のよし笛から、人、物、地域へと沢山の出会いを頂いています。明るくて、パワフル、温かくて楽しいアンサンブルです。



▲ 2019年
琵琶湖博物館で行われた
「淡海エコクラブ交流会」
での演奏風景

練習場所

守山市小津会館

練習日

毎月 第2・4木曜日
10:00～15:00

横浜よし笛サークルかもめ

人数 18人

結成年月日 2009年9月20日

協会加盟日 2015年7月12日

主な活動地 横浜市

2009年9月 よし笛の音色に魅せられた7人の仲間が集まり、関東初のよし笛サークル結成。

2010年5月 「上郷森の家ホール」にて、はじめての演奏会。よし笛、コカリナ、リコーダー、ハンドベル、ピアノ、ギターなど、インターネットで知り合った富山県や千葉県の方々が演奏参加。

2012年5月 「上郷森の家ホール」にて、第1回「ほっとらいんコンサート」よし笛、コカリナサークル演奏参加。

2014・2015年 栄区本郷台「リリス」にて「ほっとらいんコンサート」開催。

2016・2017年 「関内ホール」小ホールにて「ほっとらいんコンサート」開催。

2018・2019年 戸塚「さくらプラザホール」にて「ほっとらいんコンサート」開催。



主な発表会

ほっとらいんコンサート
貸スペースにて忘年会
(東神奈川)

老人介護施設
(年3～4回)

港南台地区センター祭り

港南台コミュニティ祭り

野庭地区センター祭り

横浜市従退職者会

聖徳寺行事

フォレスト港南台自治会

栄区犬山自治会敬老会

はじめは演奏者が友達を誘っていましたが、今ではリピーターの皆様が友達を呼んで、2019年のかもめ10周年さくらホールは満席になりました。毎年足を運んでくださるお客様も多数です。お客様からよし笛を吹いてみたいとサークルに加わった方もいます。

毎年コンサートに来て頂く老人介護施設に定期的に訪問し、皆様とよし笛を通して演奏交流させて頂いています。昨年は、「ほっとらいんコンサート」のチラシを区役所で見つけた住職さんからの連絡で、お寺での演奏の機会にも恵まれました。よし笛という「小さな楽器」を通し、ささやかな楽しさ、出逢い、そして感謝が出来れば良いと思います。

今後の課題として、音大卒業の経験豊かな方にアドバイスを頂きながら、基礎練習を重ね、表現力や技術の向上の幅を広げていきたいと思っています。

日本よし笛協会第14回定期演奏会

会場 東京市有明公園 会場 コンサンプト



2020年定例会

練習場所

港南台コミュニティ
(港南台第三小学校内)

練習日

毎月 第1月曜日
9:30～12:00

毎月 第3日曜日
9:30～12:00

関内ホール



さくらプラザ



2019年忘年会



大田文化の森



よしの音

人数 4人

結成年月日 2013年3月

協会加盟日 2013年3月22日

主な活動地 守山市

2013年 3名で「よしの音」を結成し、大津市を主に活動していたが1名が退会し2名となる。

2015年1月 塚本楽器菊井よし笛教室での再会を機に2名が入会し、新生「よしの音」を4名で結成する。月1回の練習拠点を「守山市民交流センター」とし活動団体登録もする。

2015年9月 1名の入会もあるが2017年には1名が退会する。

メンバーは職業を持つ、介護中など制約の中、年に数回の演奏活動を続けています。様々な出会いの中で曲数は増え、練習が少ないため、今後は月2回集まる予定もしています。菊井式よし笛の「素朴でやさしい音色」に魅了されている仲間が地域の方々に楽しんでもらえるように、そして、なにより自分たちも楽しみたいと願うグループです。

主な活動

守山日赤奉仕団 65 周年祝賀会
地域サロン
精神障害者ミュージックサロン
守山市視覚障害者トルコ選手団交流会
ヨシネット事業への参加
「うの家 花音コンサート」ゲスト
守山市立図書館 フォークライブ ゲスト
フォークビレッジ（さくら小ホール）
市民交流センター催事
（演奏、よし笛試奏、よし工作）

◀ 守山市はホストタウンとしてトルコ視覚障害者選手団との交流会を開催。
よし笛演奏後「ふるさと」を何度も歌い、よし笛の試奏で和やかに交流。



練習場所

守山市民交流センター

練習日

毎月 第2木曜日
10:00 ~ 12:00

毎月 第4木曜日
13:00 ~ 15:00



▲「びわこフォークビレッジ」 さくら小ホール

よし笛サークル・かいつぶり

人数 5人

結成年月日 2006年10月

協会加盟日 2006年10月

主な活動地 大津市

びわ湖に吹く爽やかな風のような、よし笛の音色。その音に魅せられた者が集まり、2006年10月に発足し、びわ湖の鳥かいつぶりに因んでグループ名を「かいつぶり」としました。

結成当時は、膳所の火祭りや花フェスタなどに出演し、びわ湖や”よし”のことについても勉強させていただきました。

また、デイサービスセンター・老人会等を訪問 一緒に歌を唄ったり、手作り楽器で楽しんだりとたくさんの応援、感動をもらいました。

年月を経て、今は気の合ったメンバーでの月2回の練習をとても楽しみにしています。日頃、聞き慣れた曲や、若い頃に流行った曲などを中心に練習に励んでいます。

今後も、よし笛演奏をしている時が、癒される時間・楽しい時間であるよう活動を続けたいと思っています。



▲定期演奏会



▲老人会訪問



▲かいつぶり

練習場所

膳所公民館

練習日

毎月 第2・4火曜日
13:00 ~ 15:00



▲メンバーです♪

よし笛サークル・シュリンクス

人数 5人

結成年月日 2008年4月

協会加盟日 2008年4月

主な活動地 近江八幡市

よし笛の素朴な自然の音色に心惹かれ、たくさんの方が、シュリンクスを経て、今もよし笛を楽しまれています。

現メンバーは、5人で、和気あいあいと、楽しくおしゃべりしながら、美季先生のご指導のもと、よし笛に励んでおります。



◀練習がんばってます！



◀美季先生と一緒に記念写真

練習場所

近江八幡市文化会館

練習日

毎月 第4月曜日
10:00 ~ 11:30



◀お寺での秋の演奏会

よし笛サークル・すみれ

人数 6人

結成年月日 2008年10月

協会加盟日 2008年10月

主な活動地 大津市

2008年10月に田中鈴恵先生を中心に総5人で発足しました。2016年2月に男性1人が仲間入りし、現在は森篠香先生のもと、総6人で日々練習に励み、機会があれば色々な演奏の場を得て活動を続けています。

演奏の中に詩の朗読を入れたり、オカリナやリコーダー、ギターなど他の楽器も取り入れてよし笛の魅力を引き出せたらいいなと思っています。今まで音楽に触れる機会が比較적少なかった人も、よし笛を通じて音楽と仲間との触れ合いを楽しんでいます。

更に、色々な演奏の場が頂けるようになりそれぞれの地域・施設の方々とお話ができるのも「よし笛だからこそ」という思いがあります。メンバーは確かに高齢化しつつありますが、体力が続く限り頑張って次世代の方々に引き継げたらいいなと思っています。



▲おおつエコフェスタ 2017/7/30

取材記事等

① 2009年

朝日新聞週刊情報誌
「あいあい滋賀」インタビュー

② 2015年

中日新聞
広域滋賀版
インタビュー及び掲載

練習場所

大津市生涯学習センター

練習日

毎月 第2・4木曜日
13:30～15:00

主な演奏実績

① 日本よし笛協会の定期演奏会

第4回より第14回まで全出演（第7回のみ交代制で不参加）

② 大津市生涯学習センターのジョイント（利用団体）発表会

2011年から2020年まで全出演（毎年開催）

③ その他イベント・フェスタ

なぎさ公園 花フェスタ・びわ湖の恵みを体験するフェスタ・
おおつエコフェスタ・栗東バイパス起工式・新春コンサート守山・
木戸公民館ミニコンサート

④ お寺さん

近松別院・恵光寺・長久寺・本立寺

⑤ ボランティア訪問演奏

デイケアセンターそよ風・まごころ大津デイ・
マザーレイク瀬田・草津・まごころの家 なごみ・
グループホーム夕照苑・特養老人ホームアスタバ・
真野フォレスト・滋賀学区敬老会・桜馬場自治会誕生会・
南郷グリーンハイツ自治会敬老会・大津宮サロン



▲中日新聞掲載記事 2015/3/23



▲桜馬場自治会誕生会 2019/7/2

よし笛サークル・てんとうむし

人数 8人

結成年月日 2006年7月

協会加盟日 2006年7月

主な活動地 愛荘町

2006年、最初は楽譜の読めない者もいる中、よし笛の音色に魅せられ、集まった仲間達です。月2回の練習で仲間達とおしゃべりして、楽しいひとときが過ごせています。

よし笛は背筋を伸ばし、腹式呼吸で演奏することにより、健康が維持でき、よし笛に出会えたことは幸せだと思っています。

主な演奏実績：デイサービス、地域ふれあいサロン、老人会、敬老会など



▲金剛輪寺 秋の芸能発表

練習場所

ハーティーセンター秦荘

練習日

月2回 不定期



◀東田堂サロン

よし笛サークル・なでしこ

人数 8人

結成年月日 2006年4月

協会加盟日 2006年4月

主な活動地 大津市・湖南地域

「びわ湖よし笛アンサンブルこなん」の、女性ユニットとして誕生したのが始まりです。「なでしこ」と言う名前は、当時話題になった、サッカー日本女子代表「なでしこジャパン」の活躍にあやかっけ名づけました。女性らしく、そしてたくましく輝きたいという思いを込めて。

新聞の地元紙面で紹介されたのを機に新メンバーが加わり、2006年によし笛サークルとして独立。日本よし笛協会の定期演奏会には第1回から参加しています。

「なでしこ」という名前の通り、女性らしい繊細な響きを大切に、メンバーそれぞれの大好きな曲や思い出の曲、いつまでも残しておきたい懐かしい曲などを練習してきました。大津市を中心に地域のイベントや高齢者施設、幼稚園や児童館など、様々なところで活動しています。毎年訪問していた未就園児とママたちが集まる子育てサロンでは、「なでしこちゃん」が森に出かけたり、動物園に行ったりと物語仕立てで進行、孫を迎える年代になったメンバーにとって新鮮で楽しい演奏会になりました。

どの演奏会も、毎回、出会いがあり、学ぶことや発見が数多くあります。よし笛がつかないでくれる人々とふれ合いは私たちの楽しみでもあり、練習の励みにもなっています。

優しくきれいなハーモニーを作ることを心がけて、クラシック、フォーク、ポップスなど、幅広いジャンルの曲に挑戦してきました。これからも仲間と心を合わせ、笛を合わせ、さらなる高みを目指してよし笛を楽しんでいきたいと思っています。



練習場所

膳所公民館

練習日

毎月 第3金曜日
10:00 ~ 13:00

※イベントに合わせて
追加練習あり

▶第10回
定期演奏会にて
ドキドキです！
地域のイベントにて

▶子育て支援
「ふわふわファミリーの
つとめ」リハ中♪

▶地元の高齢者サロン
和気あいあいのティー
タイムにお邪魔しました



よし笛サークル・西の湖の風

人数 29人

結成年月日 2010年4月

協会加盟日 2017年4月

主な活動地 近江八幡市

琵琶湖よし笛誕生 20 周年おめでとうございます。

そして、この記念誌に記載して頂けることをグループ一同とても嬉しく思っています。

さて、西の湖の風は、早結成 10 年目を迎えることが出来ました。始まりは安土のコミュニティセンターの生涯学習講座の一つとして、地元でよし笛の魅力を伝え続けていた近藤ゆみ子先生に白羽の矢が立ちました。

始めた頃はなかなか思うような音が出ず、あきらめそうにもなりましたが、ゆみ子先生の厳しいながらも、楽しく、熱心なレッスンに皆んな必死についていきました。

よし笛を通して音楽の楽しさを教えて頂きました。ここまで頑張れたのは、メンバー皆んながよし笛が大好きで、仲間が大好きだったからです。

また、ゆみ子先生のよし笛の魅力的なライブ演奏を聴く機会が多くあることも、地元の私達の強みです。よし笛の音色に魅せられて、メンバーもどんどん増え賑やかに力強く頑張っています。

「今年 10 周年を迎えます。いつかみんなで記念コンサートを開催して、大人から子供まで多くの方に聞いて頂き、次の世代にもよし笛の魅力を伝えていきたいと思います。」

西の湖の傍で琵琶湖よし笛を吹ける幸せを感じながら、大切な仲間と共に人生に彩りをプラスしていきます。これからもどうぞよろしくお願いします。

主な活動

よし笛協会定期演奏会

安土町文化祭

安土コミュニティセンター活動

デイサービス慰問

など

2019年12月
ミニコンサート & 忘年会▶



練習場所

安土コミュニティセンター

練習日

毎月 第1・3金曜日
13:00 ~ 15:00
15:00 ~ 17:00



▲ 2019年11月 第53回 安土町文化祭

よし笛サークル・はなみずき

人数 13人

結成年月日 2018年5月

協会加盟日 2018年5月28日

主な活動地 大津市

それぞれ仕事や家事、介護、孫育て、ボランティアにと忙しくする中、ふと耳にしたよし笛の音色に惹かれ、サークルの名となった「はなみずき」の美しく咲く頃集まり、結成しました。なかなか全員揃うこともなく、月に一度の練習では上達もままなりません、みんな楽しく励んでいます。

これからも遅々とした歩みですが、無理せず私達のペースで進んでいきたいと思っています。

♪ 雄琴公民館での練習風景 ♪



練習場所

雄琴公民館

練習日

毎月 第3木曜日
10:00 ~ 12:00



よし笛サークル・ゆりかもめ

人数 18人

結成年月日 2008年4月

協会加盟日 2008年4月

主な活動地 大津市

平成19年10月、旧社会保険センターのよし笛講座に13名のカモメの卵が集まりました。10回のよし笛講座は、慣れない笛に悪戦苦闘しながらも楽しい時間でした。そして平成20年4月「よし笛サークルゆりかもめ」が誕生しました。

月2回の仲川先生のレッスンは基礎的なことから始まり、メロディーに心を込めて演奏する大切さなど、その指導は的確でわかりやすく、よし笛の演奏をより楽しくさせてくれるものでした。

そして、その年の8月、はじめての定期演奏会、みんな緊張して胸をドキドキさせながら「ちょうちょう」を、『誕生・ワルツ・悲しみ・希望』と編曲して演奏しました。私達は偶然か必然か手作りの好きな者が多く集まり、演奏する時も手作りで花のブレスレットや蝶々を作り演奏に華を添えました。以来、その手作りの心は受け継がれ、帽子、コサージュ、ユニフォーム、演奏の小道具などみんなで手作りし、仲間意識を高め、一人ひとりが大切にされる、一人ひとりが輝ける、そんなサークルを目指し頑張っています。よし笛の音色に惹かれ集まった者達は今では18名になり、出張ボランティアの依頼も増え、依頼者に楽しんで頂くと共に、私達も楽しさや元気を分けて頂いています。

今では楽譜の数も100曲を超え、演奏時の季節・開催場所・聴衆の年齢を考えて曲目を選び楽しんで頂いています。

これからも、「楽しく愉快地」をモットーに健康に気を付けて少しでも長く、よし笛が吹けることを願ってやみません。

おもな演奏実績

- ・琵琶湖の恵みを体験するフェスタ
- ・大津市立田上児童館
- ・水辺の匠
(ウオーターステーション琵琶の会)
- ・大津市文化祭オープニングセレモニー
- ・瀬田東老人会
- ・日吉台市民センター
- ・その他多数

練習場所

膳所公民館

練習日

毎月 第1・3金曜日
13:30 ~ 15:00

▼日吉台ふれあいサロン 2019/12/11



よし笛デュオ・さわさわ

人数 2人

結成年月日 2011年11月

協会加盟日 2015年3月28日

主な活動地 大阪市

よし笛の音色を初めて耳にしたのは、視覚障害者向け情報CDのBGMでした。それに魅せられ山科のよし笛サークルに、大阪から体験に行きました。そこで奥村先生と出会いました。それがきっかけとなり、よし笛デュオさわさわが誕生しました。

そして、視覚障害者の私たちに根気強く優しく教えて下さる先生のおかげで、ここまで続けてこれました。私たちは楽譜が見えないため、先生が一音一音、階名を声に出して伝えて下さいます。時間をかけて、一曲ずつ覚えるまで繰り返し習います。

早い時期から先生は、人の前で吹く機会を持ちなさい、とすすめて下さいました。未熟ながらも先生のアドバイスを実行することで、お陰様で少しずつ進歩してきたように思います。今では月1回のレッスンが生活のリズムになっています。私たちの楽しいひとときです。

活動としては、毎年一回の発表会を京都の町屋でしています。また、視覚障害者の集まりにも呼んでもらったり、保育園や老人ホームなどにもたびたび呼ばれて演奏しています。

これからもぼちぼちと、自分たちのペースで続けていきたいと思っています。



▲福祉施設にて演奏

練習場所

その都度決定

練習日

毎月 第3水曜日
13:30 ~ 15:00

▲第14回定期演奏会

リードフレンズ

人数 4人

結成年月日 2015年5月

協会加盟日 2018年5月28日

主な活動地 近江八幡市

よし笛生誕20周年おめでとうございます。そして、その場に居合わせた私たちも大変幸せに思っております。

リードフレンズという名前の由来についてですが、ちょっとあつかましいとおもいつつ、菊井先生と近藤先生の「レークリード」の「リード」をいただき「リード」+属する者という意味で「フレンズ」をつけさせていただきました。

安土町、西の湖畔で毎年9月に開催されます「ヨシ灯り展」では、結成以来、オープニングセレモニーで演奏させていただいております。「ヨシ灯り展」も昨年第13回を数え、ヨシ笛とともに、葦原の保護と琵琶湖の水をいつまでも美しく保ちたいという思いを込めて、年々その活動は広がってきております。

リードフレンズは社会福祉協議会のボランティアグループに登録していて、地域のふれあいサロンや幼稚園、介護施設などで演奏させていただいております。昨年は安土町敬老の集い、ヴォーリス老健敬老の集いで演奏させていただきました。

練習は月2回基本的な音出しから始まり、楽しいおしゃべりもまじえつつ、1時間半はアツというまにすぎちゃいます。新しい曲に挑戦するときはドキドキワクワクします。これからいろいろなジャンルの曲に挑戦してレパートリーをふやし、声をかけてくださる方々とともに楽しめるように練習に励んでいきたいと思います。

昨年(2019年)の演奏

- ・地域のサロン
- ・老人会
- ・夕涼み会
- ・幼稚園
- ・ヨシ灯り展 オープニングセレモニー
- ・安土町敬老の集い
- ・ヴォーリス敬老の集い
- ・介護施設訪問



▲安土町敬老の集い(セminナリヨにて) 2019/9/12

練習場所

先生宅のレッスン室

練習日

毎月 第1・3火曜日
18:30 ~ 20:00



▲ヨシ灯り展 2019/9/28



▲日常の練習風景

レイクリード

人数 2人

結成年月日 2000年3月

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 滋賀県

よし笛の製作を始めたのは1998年(平成10年)のことでした。翌々年、故西川嘉廣先生(前会長)との出会いがあり多々お力添えをいただきました。また、後2006年に日本よし笛協会を設立した際にも顧問としてほか沢山の方々に支えていただきました。

よし笛の完成後、よし笛を人々に伝えようと活動を始めましたが、一人の動きには限界も感じ2000年に菊井了・近藤ゆみ子の二人でレイクリードを結成しました。デビュー出演はミシガン船での琵琶湖開きでした。音色を聞いて貰った後に「きれいな音ですね、よし笛を見せて下さい。」などの声を掛けていただき、皆さんの中によし笛が広がっていく予感に心を躍らしました。

2005年『愛・地球博』万博ドームでの演奏や滋賀県パピリオン担当、石山寺でのお月見コンサート、大阪淀川『大川天の川伝説』での演奏、比叡山での幻想的なコンサートなど数々の機会をいただきました。そんな中で、最も思い出に残る出来事として『第27回全国豊かな海づくり大会』での演奏をお聴きいただいた、時の両陛下から『琵琶湖よし笛』のご所望があり、演奏CDと併せて献上させていただきました。また、レイクリード10周年記念コンサートの中では、皇后陛下が作曲された『おもひ子』を演奏させていただきました。

また、子ども達のために学校を数々訪問し、葦の役割と大切さの指導、よし笛演奏の指導やよし笛コンサートをしました。卒業式では卒業生によるよし笛演奏も行われ感動したことを今でも覚えています。

現在、菊井了はよし笛を永久に存続できるようにと昨年にはよし笛工房「リードマム」を開設し、製作講座、製作者の育成、演奏指導などよし笛を次世代に引き継げるよう努力しています。

近藤ゆみ子は、持ち前の音楽経験をベースに『湖の願い』『水鳥たちの戯れ』ほか、この20周年事業を記念に『時をこえて』を作曲し、よし笛らしい音楽づくりに注力しています。現在ではソロ奏者として個性と技術を活かした演奏活動を続けています。

よし笛の原点は、～琵琶湖の願いをよし笛にのせて～という想いのもと、足下の自然を大切にすよし笛独自の音楽の文化を目指し、そして何よりよし笛の演奏を通じて多くの人々がつながっていくことを切に願っています。



▲第27回全国豊かな海づくり大会舞台全景(背景は葦オブジェクト)

石田 かよ

協会加盟日 2006 年 4 月 16 日

主な活動地 大津市

A photograph of a dry, open field with two large, conical mounds of earth or straw in the foreground. The background shows distant mountains under a clear blue sky.

私：「＼(◎o◎)／！」一音が出た時の喜びといったら

～ よし笛との旅立ちです ～

幸せ色に染めた
音を紡いで
織りなす調へを
湖とともに

A colorful illustration of a teacher and five children playing recorders. The teacher, a woman with long dark hair wearing a yellow dress, stands on the right, playing a recorder. Five children of various ethnicities and ages are lined up in front of her, each holding a recorder. From left to right: a boy in a yellow shirt and shorts, a girl in a pink shirt and blue pants, a boy in a green shirt and blue pants, a boy in a blue shirt and white shorts, and a girl in a pink shirt and blue pants. They are all standing on a green patch of grass. In the background, a large, vibrant rainbow arches over them. A small red heart icon is visible in the bottom right corner of the illustration.

奥村 美和子

協會加盟日 2017年6月12日

主な活動地 大津市

▼草津市民音楽祭にて（指揮者）



◀琵琶湖畔にて

木本 恭司

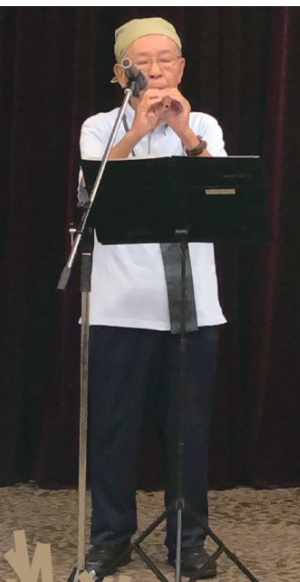
協会加盟日 2018年5月28日

主な活動地 大津市

「よし笛」も成人式を迎えたのですね。私が「よし笛」の世界に飛び込んできたのは8年前で、誕生の頃の様子を全く知りませんが、「よし笛」の周知に相当苦労されたことば聞いています。

現在、湖西線小野駅すぐそばで「美湖よし笛を楽しむ会」を少人数（6名）で月2回の活動をしています。文字通り、「吹いて楽しみ」、「聞いて楽しみ」、「コンサートに参加して楽しみ」といった具合に全く自由に活動しており、会への出入りもまた自由です。「よし笛」の音色を一度聞いてみてということから始めて2年が経ちました。自主的な活動とはいえ先生がやはり必要と思い、現在は年数回程度、近藤先生に教えに来て頂いています。

私自身は「吹く」だけでなく、今は「よし笛を作る方」にも精をだしており（どんなのができるかこれが結構楽しい）、これと「体力維持のための温水プール」通いが日課で、小学生向けの「親と子の理科工作教室」とも併せ、3本柱の充実した「第2の人生-老後-」を暮らせて頂いています。「よし笛」に巡り会って感謝しきります。昨秋、琵琶湖大津館で行われたイベントの「個人会員のつどい」で演奏させてもらったのですが（写真）、良い経験だったので今後に生かせるだろうと思っています。



佐藤 公子

協会加盟日 2012年8月7日

主な活動地 大津市

滋賀県に越してきて15年が経ちます。20年程前まで他県にいる時です、滋賀県の人達は琵琶湖の水を守るため合成洗剤を流さない活動をしている事を知り、琵琶湖の環境についてやよし原の事などに興味が湧きました。定住を決め数年した頃、新聞で菊井先生のよし笛の事を知り必ずよし笛を吹けるようになろう…と決めました。

よし笛の優しく澄んだ音色が大好きです。忙しい合間にもいつでもどこでも気軽に手軽に練習出来ることで今まで続ける事が出来ました。決まった曜日、時間でレッスンに通うのがなかなか難しい状況ですので、2019年7月から個人会員としてお仲間に入れていただきました。

最近は地元の集いにおいて、ボランティアで演奏させていただく機会があり皆様と一緒の楽しい一時をすごしています。頭も体も疲れきった時、いつもよし笛を手に取り、何もかも忘れて吹いていると次第に気持ちの切り替えができ再び前向きになれます。よし笛は私にとってなくてはならない座右の友です。

知らなかった楽曲をたくさん覚えまし、ふと耳にする音楽の曲目がわかる喜びも知りました。これからも吹きたい曲を自由に楽しめるようマイペースではありますが続けて行きたいと思っています。

杉江 公子

協会加盟日 2017年1月22日

主な活動地 長浜市

私がよし笛と出会いましたきっかけは13年程前、長浜ドーム研修の一環として「よし笛を始めませんか」とのご案内を頂き、見たことのないよし笛に興味あり参加しました。当日参加者全員、先生のご指導の元、よし笛を製作しました。その後、菊井先生の演奏を聞かせて頂き、初めて聞いたよし笛の透き通るような清らかで流れるような、しなやかな音色にすっかり魅了され感動したこと、今も蘇ってきます。ところが当時私は介護の真っ最中で、あの感動を胸に秘めたま年月が経ちました。5年ほど前「J A にじの会」の一会員にならせて頂き、その中の一環として、レクリエーションを担当させていただきました。その際、よし笛を吹く機会を与えて頂き、以来唱歌・余情歌等、心の癒しを求めて吹いています。現在は、よし笛愛好家8名が月に2回老人施設をお借りして練習に励んでいます。よし笛特有のしなやかな音色は、「吹く者」「聞く人」の心をストレートに癒してくれます。これからも心の歌と共に、よし笛と長く付き合っていきたいと思っています。

仲川 瑞枝

協会加盟日 2006年4月16日

主な活動地 大津市

私が、初めてよし笛と出会ったのは、今から20年ほど前になります。「菊井式よし笛」を持っておりました兄からの紹介です。

かつてから携帯できる楽器を演奏したく思っていた私は、優しい音色に魅了され、琵琶湖の環境にも役立つ事を知り直ぐ入手いたしました。

2004年に「びわ湖よし笛アンサンブル・こなん」さんに入会をさせて頂き、「アマービシ」と言うユニット名で活動したり、「湖都音(こんとん)」と言う講師仲間のグループでも演奏をさせてもらったりしておりました。現在は、個人会員で「かいつぶり」さん、「カーニャ」さん、「こなん」さん、「笛吹童子」さん、「ゆりかもめ」さんのみなさまと一緒によし笛演奏を楽しませて頂いております。

菊井先生が考案してくださったよし笛とめぐり合い、仲間に入れて頂いた事にも感謝をしながら、これからもお出会いさせて頂いたみなさまと一緒にずっとずっと続けさせて頂きたく思っております。



野崎 智

協会加盟日 2013年1月3日

主な活動地 彦根市

「いつまでも元気でいこう よしの音と！」

近江八幡で、ある講和を聞きに行った時、アトラクションでのよし笛を初めて聞きました。よし笛の奏でる情緒豊かな音色に一瞬、心を奪われていました。その時の感動は今でもハッキリ覚えています。

もともと音楽が好きだった事もあり私も何時かこの笛を吹きたいと思っていたところ彦根でよし笛教室「南の風」サークルがある事を知り、早速入会しました。始めは笛の穴が小さくまともな音など出す苦労しましたが何とか曲になってきました。文化祭発表もありドキドキの参加、何とか出来た達成感！このとき初めてやって良かったと思いました。私が入会した次の年、第八回協会の発表会に参加させて頂き、初めて沢山の仲間がいることも知りやる気も倍增しました。

「南の風」の発表も協会皆さんの応援・協力のお陰で練習の成果を発揮でき、中でも「笛吹童謡」の虚無僧姿での演奏は感動しました。このおじさん達とも一緒に演奏したい！その思いが通じたのが縁あって、「笛吹童謡」にも仲間入りし、飛躍して行く毎日が楽しくて嬉しい想い出でした。こうして2つグループに参加して活動してきましたが、個人的に忙しくなって、退会しました。それでもよし笛の想いは変わらず、個人会員として協会に在籍させて頂き、現在は時間の許す限り自宅で練習をしています。

最後に、よし笛をやることになって、好きな音楽にも触れさせて頂きそれにもましていろいろな方と知り合いになれたことは何よりの宝です。そして日本人の心を代表できるこの情緒ある音色を多くの人に広げて行きたいと思います。

松島 信子

協会加盟日 2017年6月12日

主な活動地 東近江市

東近江市五個荘在住。2005年頃よし笛と出会い、グループ「よしの風づくみ」で数年演奏活動を行っていました。2009年解散後は個人会員となり講師会に所属。2013年より多賀と近江八幡のグループの指導に携わり今日に至ります。よし笛の心に染み渡る音色の美しさに他にない魅力を感じています。



シャーロット よし笛会

主な活動地 ロサンゼルス

人数 10人

3月にNursing home
(老人ホーム)で演奏予定。

竹取物語ならぬ平成の葦取り物語。光り輝く「姫」のように、令和の時代に響き渡る「琵琶湖よし笛」。そんな輝く宝物との出会いに感謝して、西の湖で生まれ、ふるさとで育ち、今や海を渡り星条旗の下で。そして、この美しい音色が更に宇宙に届きます事を祈念し(記念誌)結びとします。



編集後記

この度、琵琶湖よし笛誕生20周年 記念誌発刊に伴い、関係の皆さま方には年末年始の多忙な時期に原稿をお願いしました事、また、編集作業にご尽力いただきましたスタッフの皆様方に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

いまはIT時代、機器に乏しい私にとっては膨大な資料のデーター収集には困難を極めていました。そんな時「神様は本当に存在しました」、ベテランのH氏の助け舟によりデーター収集一元化のフォーマットを作って下さり、それを基にデーター編集・更新がよりスムーズとなり、作業の効率化が図れたこと、本当にうれしく思っています。

最後になりましたが、この「20年のあゆみ」が時を超え、いつか『過去の足跡』として、想いのページをひらけていただければ幸いです。

なお、世界規模による新型コロナウイルス影響により「記念の集い」が延期され、本誌の発行がおくれましたことをお詫び申し上げます。

令和2年5月吉日
奥村 好信

琵琶湖よし笛誕生20周年記念誌 (2020年6月1日発行)

編集 記念の集い実行委員会
発行 日本よし笛協会

本誌の一部(本文・写真・イラストなど)あるいは全部を無断で複製・転載することは禁じます。

時をこえて

作詞：日本よし笛協会
作曲：近藤ゆみ子

The musical score is written in 4/4 time with a key signature of one flat (B-flat). It consists of seven staves of music. The first six staves contain the melody with Japanese lyrics underneath. The seventh staff is a repeat sign. The lyrics are: ひびきわたる ヨシのこえ きせつをうたう, あなたにとどけたいときをこえて, あおくすんだうみと そらのいろをねがう, こころにえがくゆめは きっとかなうゆめ, かぜとたわむれるヨシと あかねいろのくもと, ひかるなみと とともに とわに よしぐえ.

ひびきわたる ヨシのこえ きせつをうたう

あなたにとどけたいときをこえて

あおくすんだうみと そらのいろをねがう

こころにえがくゆめは きっとかなうゆめ

かぜとたわむれるヨシと あかねいろのくもと

ひかるなみと とともに とわに よしぐえ

ひびきわたるヨシの声 季節を歌う
あなたに届けたい 時をこえて

青く澄んだ湖(うみ)と 空の色を願う
心に描く夢は きっとかなう夢
風とたわむれるヨシと 茜色の雲と
光る波と共に 永遠(とわ)によし笛

